平成23年第1回大仙市議会定例会会議録第1号

平成23年2月28日（月曜日）

議事日程第1号

平成23年2月28日（月曜日）午前10時開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定（18日間）
- 第3 議長報告
- ・専決処分報告（法第180条関係）
 - ・例月現金出納検査結果
 - ・定期監査（後期）報告書
- 第4 施政方針演説
- 第5 議案第23号 大仙市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
（質疑・討論・表決）
- 第6 議案第24号 大仙市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（質疑・討論・表決）
- 第7 議案第25号 大仙市地域情報通信基盤光ファイバ網敷設工事請負契約の変更について
（説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第8 議案第26号 大仙市移動通信用鉄塔設置条例の一部を改正する条例の制定について（説明）
- 第9 議案第27号 大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について（説明）
- 第10 議案第28号 大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について（説明）
- 第11 議案第29号 大仙市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について（説明）
- 第12 議案第30号 大仙市肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例の制定について（説明）

- 第 1 3 議案第 3 1 号 大仙市水洗便所等改造資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 1 4 議案第 3 2 号 大仙市立太田緑地広場条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 1 5 議案第 3 3 号 大仙市牧野条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 1 6 議案第 3 4 号 大仙市高速自動車国道活用施設ぬく森プラザ条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 1 7 議案第 3 5 号 大仙市児童館及び児童センターに関する条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 1 8 議案第 3 6 号 大仙市保健センター設置条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 1 9 議案第 3 7 号 大仙市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 2 0 議案第 3 8 号 大仙市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 2 1 議案第 3 9 号 大仙市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 2 2 議案第 4 0 号 大仙市下水道条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 2 3 議案第 4 1 号 大仙市農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 2 4 議案第 4 2 号 大仙市戸別浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 2 5 議案第 4 3 号 大仙市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 2 6 議案第 4 4 号 大仙市立教育研究所設置条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 2 7 議案第 4 5 号 大仙市公民館条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)

- 第 28 議案第 46 号 大曲市へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について (説明)
- 第 29 議案第 47 号 大仙市清水診療所設置条例を廃止する条例の制定について (説明)
- 第 30 議案第 48 号 大仙市北檜岡多目的研修集会施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について (説明)
- 第 31 議案第 49 号 大仙市宮神岡スキー場条例を廃止する条例の制定について (説明)
- 第 32 議案第 50 号 大仙市宮西仙北スキー場設置条例を廃止する条例の制定について (説明)
- 第 33 議案第 51 号 大仙市宮仙北スキー場設置条例を廃止する等の条例の制定について (説明)
- 第 34 議案第 52 号 大仙市地上デジタル放送再送信施設設置条例の制定について (説明)
- 第 35 議案第 53 号 大仙市地上デジタル放送再送信施設管理運営基金条例の制定について (説明)
- 第 36 議案第 54 号 大仙市地域中核病院整備支援基金条例の制定について (説明)
- 第 37 議案第 55 号 大仙市大曲地域職業訓練センター条例の制定について (説明)
- 第 38 議案第 56 号 大曲仙北広域市町村圏組合理約の一部変更について (説明)
- 第 39 議案第 57 号 大仙市協和モーターサイクル場の指定管理者の指定について (説明)
- 第 40 議案第 58 号 市道の路線の認定及び廃止について (説明)
- 第 41 議案第 59 号 平成 22 年度大仙市宅地造成事業特別会計への繰入額の変更について (説明)
- 第 42 議案第 60 号 平成 22 年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について (説明)

- 第 4 3 議案第 6 1 号 平成 2 2 年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計への繰入額の変更について (説 明)
- 第 4 4 議案第 6 2 号 平成 2 3 年度大仙市宅地造成事業特別会計への繰入れについて (説 明)
- 第 4 5 議案第 6 3 号 平成 2 3 年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入れについて (説 明)
- 第 4 6 議案第 6 4 号 平成 2 3 年度大仙市公共下水道事業特別会計への繰入れについて (説 明)
- 第 4 7 議案第 6 5 号 平成 2 3 年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入れについて (説 明)
- 第 4 8 議案第 6 6 号 平成 2 3 年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計への繰入れについて (説 明)
- 第 4 9 議案第 6 7 号 平成 2 3 年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入れについて (説 明)
- 第 5 0 議案第 6 8 号 平成 2 3 年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計への繰入れについて (説 明)
- 第 5 1 議案第 6 9 号 平成 2 3 年度大仙市老人デイサービス事業特別会計への繰入れについて (説 明)
- 第 5 2 議案第 7 0 号 平成 2 3 年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入れについて (説 明)
- 第 5 3 議案第 7 1 号 平成 2 2 年度大仙市一般会計補正予算 (第 1 2 号) (説 明)
- 第 5 4 議案第 7 2 号 平成 2 2 年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 6 号) (説 明)
- 第 5 5 議案第 7 3 号 平成 2 2 年度大仙市老人保健特別会計補正予算 (第 2 号) (説 明)
- 第 5 6 議案第 7 4 号 平成 2 2 年度大仙市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号) (説 明)
- 第 5 7 議案第 7 5 号 平成 2 2 年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算 (第 4 号) (説 明)

第58	議案第	76号	平成22年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第1号） （説明）
第59	議案第	77号	平成22年度大仙市宅地造成事業特別会計補正予算（第2号） （説明）
第60	議案第	78号	平成22年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第5号） （説明）
第61	議案第	79号	平成22年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号） （説明）
第62	議案第	80号	平成22年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号） （説明）
第63	議案第	81号	平成22年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号） （説明）
第64	議案第	82号	平成22年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計補正予算（第3号） （説明）
第65	議案第	83号	平成22年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第3号） （説明）
第66	議案第	84号	平成22年度大仙市淀川財産区特別会計補正予算（第1号） （説明）
第67	議案第	85号	平成22年度大仙市上水道事業会計補正予算（第4号） （説明）
第68	議案第	86号	平成23年度大仙市一般会計予算 （説明）
第69	議案第	87号	平成23年度大仙市国民健康保険事業特別会計予算 （説明）
第70	議案第	88号	平成23年度大仙市後期高齢者医療特別会計予算 （説明）
第71	議案第	89号	平成23年度大仙市土地区画整理事業特別会計予算 （説明）
第72	議案第	90号	平成23年度大仙市学校給食事業特別会計予算 （説明）
第73	議案第	91号	平成23年度大仙市奨学資金特別会計予算 （説明）
第74	議案第	92号	平成23年度大仙市宅地造成事業特別会計予算 （説明）
第75	議案第	93号	平成23年度大仙市簡易水道事業特別会計予算 （説明）

第76	議案第94号	平成23年度大仙市公共下水道事業特別会計予算（説明）
第77	議案第95号	平成23年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算 （説明）
第78	議案第96号	平成23年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計予算 （説明）
第79	議案第97号	平成23年度大仙市農業集落排水事業特別会計予算 （説明）
第80	議案第98号	平成23年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別 会計予算（説明）
第81	議案第99号	平成23年度大仙市老人デイサービス事業特別会計予算 （説明）
第82	議案第100号	平成23年度大仙市スキー場事業特別会計予算（説明）
第83	議案第101号	平成23年度大仙市内小友財産区特別会計予算（説明）
第84	議案第102号	平成23年度大仙市大川西根財産区特別会計予算（説明）
第85	議案第103号	平成23年度大仙市荒川財産区特別会計予算（説明）
第86	議案第104号	平成23年度大仙市峰吉川財産区特別会計予算（説明）
第87	議案第105号	平成23年度大仙市船岡財産区特別会計予算（説明）
第88	議案第106号	平成23年度大仙市淀川財産区特別会計予算（説明）
第89	議案第107号	平成23年度市立大曲病院事業会計予算（説明）
第90	議案第108号	平成23年度大仙市上水道事業会計予算（説明）

出席議員（29人）

1番 大野忠夫	2番 佐藤文子	3番 後藤健
4番 佐藤隆盛	5番 藤井春雄	6番 杉沢千恵子
7番 茂木隆	8番 小山緑郎	9番 小松栄治
10番 富岡喜芳	11番 佐藤清吉	12番 石塚柏
13番 金谷道男	14番 武田隆	15番 渡邊秀俊
16番 高橋敏英	17番	18番 佐藤芳雄
19番 大山利吉	20番 北村稔	21番 高橋幸晴
22番 本間輝男	23番 橋本五郎	24番 藤田君雄

25番 橋村 誠 26番 佐藤 孝次 27番 千葉 健
28番 鎌田 正 29番 竹原 弘治 30番 児玉 裕一

欠席議員（0人）

説明のため出席した者

市 長	栗林 次美	副 市 長	久米 正雄
副 市 長	山王丸 愛子	教 育 長	三浦 憲一
代表監査委員	福原 堅悦	総務部長	老松 博行
企画部長	小松 辰巳	市民生活部長	元吉 峯夫
健康福祉部長	武藤 芳和	農林商工部長	藤原 薫
建設部長	田口 隆志	病院事務長	伊藤 和保
水道局長	藤田 良雄	教育次長	高橋 修司
教育次長	青谷 晃吉	総務課長	進藤 雅彦

議会事務局職員出席者

局 長	佐々木 誠治	参 事	竹内 徳幸
主 幹	伊藤 雅裕	主 査	菅原 直久
主 事	中川 智晴		

午前10時00分 開 会

○議長（児玉裕一君） おはようございます。

これより平成23年第1回大仙市議会定例会を開会いたします。

市長から招集のあいさつがあります。栗林市長。

○市長（栗林次美君）【登壇】 皆さんおはようございます。

招集のごあいさつを申し上げます。

本日、平成23年第1回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集をいただきまして誠にありがとうございます。

今次定例会におきましては、平成23年度の市政運営に関する基本方針を述べ、議員各位のご意見をちょうだいいたしたいと存じます。

また、今次定例会でご審議をお願いいたします案件は、条例案30件、単行案16件、補正予算案15件、当初予算案23件の合計84件となっております。

なお、議案第25号、地域情報通信基盤光ファイバ網敷設工事請負契約の変更につきましては、契約金額を減ずる内容であります。本日までとなっている工期の延長も伴うことから、本日議決をいただきたく、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

このほか、会期中に準備が整い次第、市道中仙4号線館ノ内北川橋橋梁上部工事請負契約の締結に係る単行案を追加提案させていただき予定であります。

各案件につきまして、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

この場をお借りいたしまして、今冬の豪雪対策などについてご報告いたします。

今冬は、平成18年以来の豪雪に見舞われ、特に1月は記録的な降雪となり、毎日がまさに雪との格闘でありました。

この間、市におきましては、死者5名、負傷者25名、住家の一部損壊が4件、非住家の倒壊が2棟、一部損壊が6件など多くの被害が発生したところであり、亡くなられた方々に対し、心からご冥福をお祈りいたしますとともに、被害に遭われた皆様には重ねて心からお見舞いを申し上げます。

市では、1月13日に「雪害警戒対策部」を設置、1月24日には「豪雪対策本部」を設置し、市道の除雪強化をはじめ、市街地の排雪や相談体制の充実に努めるとともに、高齢者世帯や空き家など除雪が困難となっている箇所に対しては市職員を派遣するなど、災害対策に万全を期したところであります。

しかしながら、2月には降雪も少なくなり積雪深も警戒基準を下回ったこと、また、市民生活に大きな影響が見られなくなったことから、去る2月25日午後5時をもって「雪害警戒対策部」に切り替えたところであります。

また、大仙市社会福祉協議会を主体に結成された除雪ボランティア「大仙雪まる隊」をはじめ、市内中高生、各事業所によるボランティア活動や各地域・集落での助け合いによる除雪活動など、その取り組みに対しまして改めて敬意と感謝の意を表したいと存じます。

農林水産関係の被害状況につきましては、パイプハウスなど農業施設への被害は明らかになりつつありますが、現在のところ、果樹を含めた被害の全容把握に至っておりません。今後、融雪に伴ってさらなる被害も予想されることから、雪解けを待って再度調査を実施し、支援策を検討してまいります。

なお、道路排雪及び除雪経費等がかさんだことから、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、職員による自動車の酒酔い運転についてご報告申し上げます。

道路河川課の56歳の男性主席主査が、去る1月22日土曜日の昼頃、焼酎の水割りをコップ3杯のみ、午後3時頃に温泉施設に行くために自動車を運転して、道路脇の雪壁に衝突する自損事故を起こしたものであります。

警察の取調べや本人からの事情聴取、また、同職員が平成11年にも自動車の酒気帯び運転による追突事故を起こし、停職1カ月の懲戒処分を受けていることなどを踏まえ、去る2月25日の職員事故等審査委員会の審査を経て、同日付けで同職員を懲戒免職処分としたところであります。

また、上司である建設部長及び道路河川課長につきましては、嚴重注意処分といたしました。

飲酒運転については、職員に対し、その根絶に向け再三にわたり嚴重に注意してまいったところでありますが、このような事態となり、弁解の余地もありません。大変申しわけありませんでした。

今後このようなことがないよう、なお一層、厳しく職員を指導してまいりたいと存じます。

以上をもちまして、招集のあいさつ並びに諸般の報告を終わります。

午前10時06分 開 議

○議長（児玉裕一君） これより本日の会議を開きます。

○議長（児玉裕一君） 本日の議事は、議事日程第1号をもって進めます。

○議長（児玉裕一君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、議長において、10番富岡喜芳君、11番佐藤清吉君、12番石塚柏君を指名いたします。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、本日から3月17日までの18日間といた

したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって、会期は18日間と決定いたしました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第3、この際、諸般の報告をいたします。

議会の委任による専決処分報告1件が市長から、例月現金出納検査結果及び定期監査（後期）報告書が代表監査委員からそれぞれ提出されましたので、これを別添お手元に配付のとおり報告いたします。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第4、市長から施政方針演説のため発言の申し出がありますので、これを許します。栗林市長。

○市長（栗林次美君）【登壇】 平成23年第1回大仙市議会定例会にあたり、市政の運営の基本方針と施策の概要を述べ、市民の皆様をはじめ、議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

平成17年3月22日に1市6町1村が合併し、大仙市が誕生してから早いもので6年が経とうとしております。

私は、市長就任以来、「市政は市民のために」を基本理念に、本市の将来都市像であります「人が生き人が集う夢のある田園交流都市」の実現に向け努めてまいりました。私に与えられた最大の責務は、本市が一体性のある自治体として発展していくための基礎を固め、軌道に乗せることであると考え、旧市町村が築いてきた産業や文化、伝統、まちづくりの方針を大切に、地方分権時代にふさわしい「市民と行政との協働の地域づくり」を推進してまいりました。

一方、社会経済情勢は刻一刻と変化しており、特に経済については、一部に明るい兆しが見られるものの、本市のような地方都市においては閉塞感を払拭できない状況にあり、市民生活を営む上での不安材料となっていることから、一刻も早くこの状況を打開し、市民の皆様が希望を持って暮らせるような施策の推進が喫緊の課題であると強く認識しております。

市では、こうした課題にしっかりと対応し、より良いまちづくりを進めていくために、新たに平成23年度を初年度とする後期基本計画とそれに基づく実施計画の策定を進め

ており、前期計画での成果や反省点を踏まえつつ、市民の声を市政に反映させることを基本に、向こう5年間の市政運営の基本的な方策を定めることとしております。

これまで市民の皆様とともに進めてきた事業の成果を土台に、一体感のある「大仙市」としての取り組みを前面に打ち出しながら、この新たな基本計画のもと、各種施策・事業を効果的・効率的に実施し、将来都市像の実現に向け、より一層邁進してまいりたいと考えております。

それでは、はじめに本市の主要課題についてその基本的な考えを申し述べたいと存じます。

主要課題の第1は、市民生活の安定と経済の活性化についてであります。

現在の日本経済は、世界金融危機の影響等による景気の低迷から緩やかに回復していくことが期待されておりますが、地方経済は、これまでの景気の冷え込みによる影響が根強く、明るい兆しを見出せない状況が続いております。

本市では、こうした状況を踏まえ、国や県の対策との調整を図りながら、県内市町村ではいち早く「大仙市経済・雇用・生活緊急対策」と「行動計画」を策定したところであり、この計画に基づく施策を平成21年1月から実施してまいりました。

しかしながら、依然として厳しい地域の経済情勢等に鑑み、より一層の対策を図るため、今般、第3次行動計画を策定したところであり、市民生活の安定と経済の活性化に向け、引き続き、雇用対策及び就労支援の充実、切れ目のない企業支援、消費活動の奨励などを柱とした対策を一体的・総合的に推進してまいります。

第2に、子育て支援と教育の充実についてであります。

大仙市が元気で活力ある地域となるためには、子供を安心して産み、健やかに育てられる環境の整備と、心豊かで創造力にあふれる人材の育成につながる教育の充実が重要であります。

これまで、若い世代に対する子育て支援などに積極的に取り組み、全県下でも手厚い子育て支援環境を構築してきたところでありますが、今後も子供を安心して産み、育てられる環境づくりを着実に進めてまいります。

また、学校教育についても、児童生徒の望ましい学習や生活習慣の維持向上に積極的に取り組んできたほか、急速に進む少子化の中で、より良い学習環境づくりに向けて学校規模適正化や施設整備、耐震補強などに努めてきたところであり、現在、全国学力、体力・運動能力等の調査において本市の児童生徒が全国トップクラスに位置しているこ

とは、こうした取り組みが実を結んでいることの表れであると考えております。

今後とも、本市の教育目標であります「生きてはたらく知恵を育み、創造力にあふれる人づくり」に向け、保護者や地域との連携を図りながら、取り組みをより一層充実させてまいります。

第3に、安心できる健やかな暮らしの実現についてであります。

市民の健康維持・向上のためには、安心できる医療体制の構築や生活習慣病などの疾病の未然防止、健康づくりに取り組める環境の整備が必要不可欠であると考えます。

安心できる医療体制の構築につきましては、関係の皆様からのご協力を得ながら、地域の中核病院である仙北組合総合病院の改築整備の推進をはじめ、祝休日・夜間の医療体制の充実や災害時における医療体制づくり、医師確保対策など地域医療体制のさらなる充実に努めてまいります。

疾病の予防や早期発見・早期治療につきましては、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌の3ワクチンの接種費用を全額助成するとともに、本県において死亡率が極めて高い大腸がんについては、国立がん研究センターと昭和大学の研究事業にモデル市として参画することにより、大腸がんの早期発見・早期治療に努めてまいります。

また、自殺が大きな社会問題となっていることから、その予防対策として施策の強化を図ってまいります。

第4に、活力ある農林水産業の確立についてであります。

国では、平成22年度において実施した「戸別所得補償モデル事業」について、平成23年度から畑作物にも対象範囲を拡大し、「戸別所得補償制度」として本格実施することとしております。

県におきましても、秋田県農林漁業振興臨時対策基金を活用した「農林漁業競争力強化・躍進プラン」により、集中的に秋田県の農林漁業の構造改革を進めようとしております。

市では、平成23年度から向こう5年間を見据えた新たな「農業振興計画」を策定したところであり、この計画では「担い手の育成と生産環境の整備」、「地域に適合した作物づくり」、「加工・販売・交流型農業の推進」、「農山村環境の改善と保全」を柱に、国や県の農業施策を的確に捉えつつ、今後の市場動向にも迅速に対応できるような活力ある農林水産業の確立に向けて取り組みを着実に進めてまいります。

主要課題の最後は、長寿社会に対応できる地域公共交通の確立についてであります。

地域公共交通については、平成20年2月に策定した「大仙市の新しい地域公共交通計画」に基づき、路線バスの廃止に伴う代替交通や公共交通空白地域の解消策として乗合タクシー、コミュニティバスを運行し、日常生活に不可欠な移動手段の確保に努めてまいりました。

今般、平成23年度から5カ年の次期計画として「大仙市のよりよい地域公共交通計画」の策定作業を進めているところであり、市内において基幹路線としての役割を担うバス路線の維持方針とその運営方式の見直しや、これに連結する乗合タクシーなど既存の交通システムの利便性向上に向けた事業、市民と行政の協働による新たな交通システムの検討のほか、鉄道に関する利用者ニーズ調査に基づき、ダイヤ改正及び増発についてJRに要望することなどを盛り込むこととしております。

本計画のもと、今後も市民の日常生活の足の確保に努め、市民・運行事業者・行政の三者で支え合う、長寿社会に対応した地域公共交通の実現に向けて努力してまいりたいと存じます。

次に、平成23年度当初予算（案）について、財政方針も含めてご説明申し上げます。

本市におきましては、長引く景気の低迷や人口の減少を受け、自主財源の柱である市税収入の落ち込みに加え、社会保障費や市債償還額の増大により、厳しい財政状況が続いております。

平成23年度当初予算につきましては、こうした状況を踏まえ、今後の国の施策や経済対策、地方財政計画を見極めつつ、スクラップ・アンド・ビルドを基本に、一件審査方式による既存事業の見直しや財源確保、効果的な事業の創設など、行財政運営の簡素化・効率化に向けた丁寧な編成に努めたほか、「経済対策・雇用対策・生活対策」や「地域医療の推進」、「子育て支援及び教育の充実」、「農業振興」などの主要事業を着実に実行していくことを重視した編成を行ったところであります。

また、平成27年度から合併特例措置逡減・廃止を踏まえ、本市の持続可能な財政基盤を確立するため、市債発行額を抑制するなど将来を見据えた予算としております。

一般会計予算につきましては、総額は441億2,523万4千円で、前年度に比べ5億6,490万7千円の増、率にして1.3%の増となっており、予算規模が3年連続して前年度比プラスとなる、地域経済の情勢を踏まえた「積極型予算」としております。

なお、1月の市議会臨時会において議決をいただいた、国の経済対策として平成22

年度から繰り越しして実施する「きめ細かな交付金」5億5,400万円を加えた一般会計の予算総額は446億7,923万4千円となり、14カ月予算として編成したものであります。

また、特別会計予算につきましては、平成22年度をもって3つの会計が廃止となることから20会計となり、総額は211億9,422万9千円となるほか、企業会計は2事業で21億4,443万3千円であります。

これにより、本市の平成23年度当初予算の全体額は674億6,389万6千円となり、前年度に比べ3億1,864万4千円の増、率にして0.5%の増となります。

平成23年度は地方交付税が増額され、地方交付税の代替財源である臨時財政対策債が減額となっておりますが、一般財源の総額については前年度と同額程度を確保しております。

市債の発行につきましては、「公債費負担適正化計画」を遵守し、臨時財政対策債などを除いた建設事業債等については、各種事業の見直しなどにより、計画額を7億2,000万円下回る予算計上となっており、平成23年度末の臨時財政対策債を除く全会計の市債残高は、前年度を40億円下回る900億円程度まで抑制される見込みであります。

平成23年度においても、高利率の市債の借り換えによる利息の軽減や繰上償還による市債残高の抑制に努めるほか、「公債費負担適正化計画」の計画期間内における建設事業債等の発行額については、元金償還額の8割以内に抑制することとし、平成28年度末の残高を770億円以内とするなど、将来負担の軽減を図ってまいります。

なお、平成23年度当初予算においては、市債発行額を除いた歳入予算が市債償還額を除いた歳出予算を上回っていることから、基礎的財政収支は黒字に保たれております。

一方、経済事情の変動や災害復旧など不測の事態に対応するための財源として積み立てしている財政調整基金につきましては、平成20年度までは毎年取り崩しを行って予算編成してまいりましたが、平成21年度からは取り崩しを行わず積み増しを図ったことから、平成22年度末の基金残高は、当市における標準財政規模約300億円の5%を超える16億6,000万円を見込んでおります。

平成23年度当初予算においても、取り崩しを行わず積み増しすることにより、予算編成後の基金残高は17億1,000万円程度になるものと見込んでおりますが、年度内の財政運営においてできる限りさらなる積み増しを行い、年度末の、23年度末の残

高を20億円程度確保できるよう努めてまいります。

このようなことを踏まえ、主な財政指標については、平成21年度決算において19.0%であった実質公債費比率を18.5%へ、同じく90.3%であった経常収支比率を80%台後半へ、また、188.3%であった将来負担比率を170%台へ改善する目標を掲げ、財政運営を進めてまいります。

次に、平成23年度の主な施策の概要について、総合計画の施策の体系順に説明いたします。

はじめに、健康福祉分野についてであります。

「大仙市高齢者プラン」、「大仙市障がい者計画」及び「第2期大仙市障がい福祉計画」につきましては、平成23年度が計画期間の総括年度となり、これまでの実績を検証しながら、新たに平成24年度からの計画策定に取り組んでまいります。

保健・医療の充実につきましては、引き続き各種健（検）診事業や乳幼児及び児童生徒の予防接種の実施並びに健（検）診後の健康管理を強化し、病気の予防、早期発見・早期治療など健康の維持増進を図ってまいります。

また、主要課題の説明でも申し上げましたが、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を平成23年度から全額助成し、市の委託を受けた医療機関において接種できることとしております。特に、子宮頸がん予防ワクチンの接種については、国の補助対象から外れる高校2年生及び高校3年生相当年齢の女子に対し、市単独事業として実施するとともに、子宮頸がん集団検診年齢を20歳から19歳に引き下げるなど、ワクチン接種と検診を充実させることにより、子宮頸がんの予防と早期発見・早期治療に結びつけてまいります。

大腸がん検診については、国立がん研究センターと昭和大学が研究事業として実施している大腸がん検診研究事業にモデル市として参画いたします。この研究事業は、仙北市立角館総合病院を実施医療機関とし、40歳以上74歳までの一般市民を対象に、現在の便潜血検査に加え大腸内視鏡検査を併用する検診を10年間継続して行うことにより、大腸内視鏡検査の有効性を評価・研究するものであり、平成23年度は、当該病院に近い太田地域と中仙地域を対象に実施してまいります。

なお、平成24年度からは対象地域をさらに拡大して実施する予定となっております。

自殺予防対策については、嘱託職員として臨床心理士を配置し、市自殺予防ネットワーク推進協議会や関係機関、各種団体と連携を図り、相談窓口体制の強化、予防啓発

活動の推進、メンタルヘルスサポーターの育成、自殺未遂者対策など、地域ぐるみの心のネットワークづくりに取り組んでまいります。

中仙地域の診療所については、その役割を終えることにより、清水診療所を平成22年度、豊岡へき地診療所を平成26年3月をもって廃止することとしておりますが、今般廃止される清水診療所の利用者には、代替医療機関に通院するための交通費助成を向こう3年間実施いたします。

子育て支援の充実につきましては、平成22年度から支給が始まった「子ども手当」について、国の方針に基づき、平成23年度は3歳未満児分の支給額を月額1万3千円から2万円に引き上げて支給することとして、その準備体制を整えておりますが、現在、支給の根拠となる法案と財源となる国の予算の成立が不透明な状況にあることから、今後の国の動向を注視してまいりたいと存じます。

放課後児童クラブにつきましては、平成24年度に予定している西仙北地域の小学校統合により利用児童数の増加が見込まれ、現在のクラブ室が狭隘になることが予想されることから、刈和野小学校敷地内にクラブ室を新たに整備いたします。

また、保育園には、障がいのある児童や何らかの支援を要する児童への対応として保育支援員を配置しておりますが、さらに6名増員し42名体制として保育体制の一層の充実を図ってまいります。また、児童相談強化事業として、保育アドバイザーを1名から2名に、家庭相談員を2名から3名にそれぞれ増員し、増加する相談への対応や問題の早期発見など、良好な子育て環境の整備に努めてまいります。

次代を担う子供の権利を守り、健やかに育む社会環境整備を目指すための市の基本理念を定める「こども条例」の制定につきましては、平成23年度に調査研究を行い、24年度の制定を目指したいと考えております。

高齢者福祉の充実につきましては、引き続き敬老会や軽度生活援助事業等をはじめとする諸事業を実施してまいります。

障がい者・障がい児福祉の充実につきましては、障がい者通所施設等交通費助成金支給事業を実施することにより、障がい者施設への通所者やその保護者等の負担軽減を図るとともに、市内の通所事業所の利用拡大に努めるほか、これまで整備費の一部を助成してまいりました「(仮称) テンダーランドリーファクトリー」が7月に開所されることから、その事業運営の安定化に向け支援してまいります。

また、地域経済の活性化と雇用機会の創出を図るため、地域活性化交付金を活用した

障がい者施設支援員等就業推進事業を実施し、障がい者を支援する担い手の確保に努めてまいります。

社会福祉施設等の法人化につきましては、特別養護老人ホーム福寿園を社会福祉法人大仙ふくし会に、また、幼保一体施設のかみおか幼稚園、神岡保育園となかせん幼稚園、中仙西保育園を社会福祉法人大空大仙にそれぞれ移譲いたします。

なお、指定障がい者福祉サービス事業所「まつくら」及び「まつくら分場しみず」については、平成23年4月に社会福祉法人大仙市社会福祉協議会から社会福祉法人水交会に経営移譲されるとの報告を受けております。

国民健康保険事業につきましては、平成21年3月に策定した「大仙市国民健康保険事業運営安定化計画」に基づき、健全化に向けた総合的な取り組みを進めてきておりますが、今般これまでの実績等を踏まえ、計画に現時点での修正を加えた変更版を策定しております。

計画では、2年ごとに国保税率を見直すこととしており、平成23年度国保会計当初予算では、急激な国保税の増額にならないよう配慮することとし、一般会計から2億5,000万円の繰り出し措置を行うこととした予算を計上しております。

しかしながら、国保被保険者数の減少や課税所得の全体的な落ち込みが予想され、一人当たりの医療費も毎年度増加傾向となっており、国保税率の引き上げが避けられない状況となっております。

税率の引き上げ幅については、今後、課税所得が確定する6月に向けて検討することとなりますが、現在の経済情勢等を勘案し、被保険者の急激な負担増にならないよう配慮してまいりたいと考えております。

太田国民健康保険診療所につきましては、経営の改善と安定化を図り、高齢社会における医療需要に応えるため、医療法人による経営に移行すべくその準備を進めてまいります。

また、太田国民健康保険歯科診療所については、近隣に民間歯科医院が開院するなど歯科診療環境が変化していることから、公立歯科診療所としての当初の役割は終了のもの判断し、平成23年度をもって廃止する計画であります。廃止後の施設設備利用について検討してまいります。

次に、教育分野についてであります。

学校規模適正化の推進により平成24年4月に開校する統合小・中学校の校舎整備に

つきましては、西仙北地域の4小学校の統合校舎となる刈和野小学校における教室等の増改築のほか、神岡地域の2小学校の統合校舎となる神宮寺小学校、南外地域の2小学校の統合校舎となる南楯岡小学校、西仙北地域の2中学校の統合校舎となる西仙北東中学校の部分改修を行ってまいります。

また、閉校となる小・中学校については、事業費を予算計上し、閉校にかかわる記念事業などを実施してまいります。

また、統合校の校名については、1月4日から1月17日まで公募した結果、小学校439件、中学校227件、合計666件の応募があり、各地域の校名選考委員会で選考していただいたところであり、今次定例会に条例の一部改正案を上程しております。

学校施設耐震化事業については、耐震診断により補強工事が必要とされた小学校12校、中学校9校の21校のうち、昨年12月までに20校が完了しており、残る大曲小学校についても本年9月には完了の予定であります。

このほか学校教育関連では、平成23年度における学校教育活性化のキーワードを引き続き「交流」と「連携」とし、一層開かれた学校づくりを進めてまいります。児童生徒の望ましい状況にある生活習慣や運動習慣等の維持向上を目指し、学校生活支援員を増員するとともに、大仙市PTA連合会や学校支援地域本部などの保護者や地域との連携を図りながら、各学校に対し支援を行ってまいります。

また、新たに「コロンブスの卵わくわくサイエンス事業」を実施し、教員研修や中学生の首都圏大学等への派遣により理数教育の充実を図るとともに、「音のまち大仙楽器サポート事業」では、小・中学校における楽器の購入・更新を促進することにより、音楽活動のさらなる充実を図り、子供たちの情操の涵養と地域の文化活動の基盤づくりに努めてまいります。

生涯学習の推進につきましては、平成19年度に生涯学習推進計画を策定し、生涯学習のまちづくりを進めてまいりましたが、この計画が平成23年度をもって終了することに伴い、これまでの成果を反映させながら、平成24年度から5カ年の「第2次生涯学習推進計画」を策定いたします。

全国の若手音楽家を対象に毎年開催しております新人音楽祭コンクールにつきましては、企画立案段階からの市民参画の促進や市の実施運営方式の見直しなどを図ることにより、さらなる充実に努めてまいります。

秋田おばこ節、秋田おはら節、秋田飴売り節の3つの全国大会につきましては、引き

続き支援するとともに、出前民謡「ふるさと民謡めぐり」についてもこれまでどおり継続し、若手の育成を図りながら民謡文化の継承と普及に努めてまいります。

総合図書館事業につきましては、「大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づき、ブックスタート事業をはじめとして、保育園、幼稚園、小・中学校における読書活動を推進するとともに、地域活性化交付金を活用し、平成23年度と平成24年度の2カ年で、通常予算措置分を合わせ約3万冊の図書を購入する予定であり、これにより公立図書館及び学校図書の充実が図られるものと思っております。

文化財の保護・整備につきましては、これまでも将来に継承していくための事業を実施してまいりましたが、その中でも旧池田氏庭園と鈴木空如の歴史資料群を本市を代表とする文化遺産と位置付け、旧池田氏庭園整備については、昨年秋に洋館の修復工事が完了したことから、23年度からは5カ年計画で米蔵と味噌蔵の修復工事を進めてまいります。

また、鈴木空如の調査研究事業については、作品として完成度が高く美術品としても優れており、資料群の取得・市有化による貴重な歴史資料の散逸防止と経年劣化による損傷の防止を図りながら、末永く後世に伝え、その画業と人物を顕彰してまいりたいと考えております。

なお、東北大学名誉教授の^{ありがよしたか}有賀祥隆氏の指導のもとに調査・研究を進めておりますが、3月に調査成果の展示公開と講演会を予定しております。

スポーツ振興につきましては、北東北3県合同開催の全国高等学校総合体育大会のなぎなた競技が、8月17日から19日までの3日間の予定で仙北地域ふれあい体育館を会場に開催されます。

また、首都圏からの大学野球をはじめとする運動部関係の合宿については、スポーツによる地域の活性化と全国に本市を発信する絶好の機会と捉え、引き続き積極的に誘致を進めてまいります。

総合型スポーツクラブにつきましては、より多くの人々が生涯を通してスポーツを楽しめる地域コミュニティの核となることが期待されており、平成18年設立の大曲スポーツクラブに続き、大曲地域の「内小友スポーツクラブ」、太田地域の「おおたスポーツクラブ」が、3月中に相次いで設立することとなっております。

次に、産業分野についてであります。

農業の振興につきましては、新たに策定した農業振興計画に基づいて、政策や経済、

気象の変化にも耐え得る元気な大仙市農林水産業の展開がなされるよう、各般の事業を展開してまいります。

担い手の育成と生産環境の整備については、大仙市農業の牽引役となる人材を育成する「農業トップランナー育成事業」を実施するとともに、中山間農地の有効活用を目指す「中山間農地引き受け手確保事業」を実施してまいります。

農村整備につきましては、県営土地改良事業を主体に10地区のほ場整備が継続されるとともに、新たに太田地域の東今泉地区が事業開始となる予定であります。また、条件不利地域における小規模土地改良事業については、モデル地区を定め、担い手の定着による集落コミュニティの再生・向上を生産基盤の面からも支援してまいります。

地域に適合した作物づくりについては、重点振興作物をより一層奨励し、大仙市ブランドの構築を図るため「大仙重点野菜生産拡大事業」を実施するとともに、地域特有の野菜等の生産を進めるため「地域特産野菜等応援事業」を実施してまいります。

畜産振興につきましては、笹倉・黒森山・協和放牧場の機能の強化・充実を図り、農家の労働力の省力化や生産効率の向上を推進するとともに、草地の更新を計画的に行い、放牧牛の健全な飼養に努めてまいります。

加工・販売・交流型農業の推進につきましては、市内で生産される米・野菜・加工品の情報を積極的に市内の消費者に提供するとともに、新たな付加価値を産む6次産業化について調査と研修を行ってまいります。また、昨年度設立された都市農村交流協議会の活動を支援し、グリーンツーリズムの受け入れ体制等の強化に努めてまいります。

農地・水・環境保全向上対策事業につきましては、平成23年度で事業が終了することから、事業のまとめと次期対策の検討を進めてまいります。

林業振興につきましては、秋田市河辺の七曲臨空港工業団地に建設される「秋田スギ大規模製材工場」に関し、本市は素材の生産地域、集荷集積地域及び流通拠点として密接なかかわりを持っており、秋田スギの需要拡大、雇用の創出、地域経済及び関連企業の活性化など、本市にとって大きな事業効果や経済効果等が期待できることから、その建設に対し支援してまいります。

水産振興につきましては、サケのふ化放流や採捕等とともに、近年特に力を入れているサクラマスの子化・放流についても引き続き取り組んでまいります。

雇用の安定と就労の促進につきましては、ハローワーク及び県、仙北市、美郷町等と連携した就職面接会の開催などを実施してまいります。

また、大曲地域職業訓練センターについては、独立行政法人雇用・能力開発機構から市が無償で譲り受け、平成23年度から市の施設として、引き続き職業訓練及び専門技能の養成の場を提供し、能力開発を図ってまいります。

雇用助成金制度については、「雇用拡大助成金制度」と「緊急雇用助成金制度」の2制度を統合の上、平成23年度からは新たに「雇用創出助成金制度」として市民の就職を支援することとしております。

職業能力の開発支援については、求職中の45歳未満の方々を対象に「求職者技能教育チャレンジ事業」を実施し、現場作業に必要な資格の取得講座を開設することにより就労支援を図るとともに、市内事業所に在職中の45歳未満の方々を対象に「在職者職業スキルアップ事業」を実施し、積極的な技能向上を推進することで地域産業の振興に結びつけたいと考えております。

商業の振興と地域の活性化につきましては、「がんばる商店等支援事業」などの支援制度の拡充を行い、中心市街地及び各地域の活性化に向けた商業活動関連事業を支援してまいります。

市内企業の経営に対する支援につきましては、その資金需要に対応していくため、マル仙融資制度を充実してまいります。現在行っている融資限度額の増額措置については適用期限を1年延長した上で、設備資金並びに経営安定資金の融資にかかる利子補給及び融資保証料の全額補給を継続実施してまいります。

工業の振興につきましては、既存の支援策に加え、工場等の新規取得やリースによる操業を対象とする新たな助成制度を創設し、企業の事業拡大や新規事業への挑戦を支援してまいります。また、大仙市企業連絡協議会の取り組みを支援し、企業間の交流の促進を図るとともに、市内企業情報データベースを市のホームページから発信する取り組みを継続し、受発注の促進を図ってまいります。

企業誘致につきましては、今後の新規誘致に向けて、「農商工連携」をキーワードに規模拡大の意向調査を実施いたします。また、正副市長が誘致済み企業の本社や同業組合等を中心に訪問し、新規誘致の端緒となる情報の収集に努めてまいります。さらに、大仙市首都圏企業懇話会を開催し、本市に縁のある経済人、企業代表などとの情報交換を通して市の姿勢・施策を理解していただくよう努めるとともに、秋田県企業誘致推進協議会の事業を積極的に活用し、県や周辺自治体とも連携しながら企業誘致を図ってまいります。

また、神岡地域で進められている県の新規大規模工業団地整備事業については、環境調査、埋蔵文化財調査を継続すると伺っており、今後も県との連絡を密にし、地元をはじめ関係各所への情報提供に努めてまいります。

観光振興につきましては、フィルムコミッション立ち上げに向けた取り組みについて、大曲商工会議所をはじめとした関係機関との連携を図りながら、交流人口の増加を目指し着実に推進してまいります。

新たなる100年に向けて歩み始めた全国花火競技大会「大曲の花火」につきましては、今後も多くの方々に夢と感動を与えることができるよう、大会実行委員会の皆様とともに取り組んでまいります。

次に、都市基盤分野についてであります。

市道整備につきましては、継続事業として、国道105号と清水地区のふるさと農道を結ぶ中仙4号線の橋梁工事及び西仙北地域の愛宕下跨線橋の落橋防止工事を進めるとともに、新規事業として南外地域と西仙北地域を結ぶ幹線道路である南外1号線の整備事業に着手いたします。また、西仙北地域の小学校統合に伴う通学路の安全対策として、上ノ台1号線の歩道整備を実施してまいります。

市単独の道路改良につきましては、市道延長、未改良延長、人口割合等の基準に基づき、各路線の必要性や緊急性を勘案しながら着実に推進してまいります。

道路維持管理につきましては、「道路を造ることから道路を活かすことへ」を基本理念に、既存道路の機能充実を図りながら、市民要望への迅速な対応に努めるほか、適正な道路維持管理と交通安全施設整備を進めてまいります。

都市計画につきましては、大仙市都市計画マスタープランの方針に基づき、平成23年度は都市計画区域拡大や用途地域の見直しに伴う、都市計画図及び用途地域図作成業務を実施してまいります。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業につきましては、JR大曲駅西地区のすべての建物移転補償が完了したことから、今後は住宅市街地総合整備事業との連携を図りながら、大花町地区の効率的な建物移転補償並びに基盤整備を進めてまいります。

都市計画道路中通線につきましては、JR奥羽本線アンダーパス区間の早期開通に向け、引き続き大花町側を整備する計画であり、これと連絡する都市計画道路大花線及び区画道路についても整備を進めてまいります。これにあわせ、供用開始に向けて街区の整地工事及び上下水道工事も施工してまいります。また、土地区画整理事業と連携を図

りながら、中通線街路整備事業に着手し、平成23年度は都市計画道路駅東線までの未整備区間192mについて、取付道路の詳細設計、用地測量及び建物調査業務を実施いたします。

上水道事業につきましては、継続事業として秋田県が実施する大曲橋架け替えに伴う上水道施設の移転について、既存の金谷ポンプ場の撤去工事を実施するほか、債務負担行為を設定し、配水管の橋梁添架工事を実施する予定となっております。

簡易水道事業につきましては、5カ年の継続事業として実施している西仙北地域大沢郷地区簡易水道施設整備事業について平成23年度が最終年度となっていることから、事業完了に向けた構造物の外構工事及び路面復旧工事等を進めてまいります。

下水道事業につきましては、生活環境・公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道事業により大曲、神岡、中仙及び南外の4地域の管路工事を引き続き進めてまいります。

農業集落排水事業につきましては、太田地域の三本扇地区が事業完了年を迎えることから、供用開始に向けて管路工事と処理施設の機能調整工事のほか、場内整備工事を進めてまいります。また、大曲地域の角間川地区につきましては、真空式管路施設工事と処理施設建築工事を実施してまいります。

なお、平成20年度から段階的な改定を行うこととしてきた下水道使用料については、料金の統一及び国の示す水準までの改定を目指し、今次定例会に最終案及び平成29年度までの経過措置にかかわる条例改正案を上程しております。

次に、環境・安全分野についてであります。

住宅環境の整備につきましては、大仙市耐震改修促進計画や大仙市住生活基本計画に基づき、市民生活の安全を確保するため、改修工事への助成事業を新たに加えた建築物耐震診断事業を引き続き実施してまいります。また、23年度から、災害時の重要拠点となる庁舎関係についての耐震改修を行うほか、庁舎以外の特定建築物についても順次改修を進めてまいります。

住宅リフォーム関連につきましては、相談体制や情報提供を充実させながら、住宅の断熱・省エネ化、バリアフリー化、耐震化によって住環境の向上が図られるよう住宅リフォーム支援事業を継続するとともに、より一層の利用促進を図るため、補助金交付要件となる最低工事費を現在の50万円から30万円に引き下げ、引き続き実施してまいります。

市営住宅につきましては、「大仙市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、国の補助事業を活用した市営住宅の長寿命化を図ってまいります。

環境学習の推進につきましては、環境に配慮したライフスタイルを身につけ、美しい環境と豊かな自然を次世代に引き継ぐことができるよう、小・中学生、高校生、一般市民、事業所を対象に環境学習推進事業を実施してまいります。

特定外来生物調査駆除事業につきましては、県の緊急雇用創出臨時対策基金を活用し、市内全域で特定外来生物の生息調査とその駆除を行い、地域の生態系の保全に努めてまいります。

地球温暖化防止対策につきましては、低消費電力かつ長寿命で環境にやさしいLED照明の購入助成を行い、一般家庭への普及促進に努めてまいります。

一般廃棄物につきましては、ごみの減量化とリサイクル推進の新たな取り組みとして、市内全域でペットボトルキャップの拠点回収を実施いたします。

廃食用油回収事業につきましては、平成20年度に中仙地域でスタートし、平成22年度から市内すべての地域で取り組みを進めておりますが、市民の皆様や市内事業所のご理解とご協力により、1月末現在の回収量が5,106リットルとなり、当初の目標である7,000リットルに近づいている状況であります。

回収された廃食用油は、バイオディーゼル燃料に精製の上、学校給食の配送車用燃料として有効に活用されており、今後は市民への周知徹底を図るとともに公用車両への利用拡大を進めるなど、循環型資源の利用促進を図ってまいります。

し尿汲み取り料金につきましては、平成10年4月以降、180リットル当たり1,365円となっておりますが、大仙市、美郷町、大仙美郷環境事業組合及び住民代表による検討委員会で協議を行い、その後、廃棄物減量等推進審議会の審議を経て、平成23年10月1日から180リットル当たり1,600円に改定することで意見集約されたところであります。今後、市広報に掲載するほか、収集運搬業者が個別に対応するなど周知に努めてまいります。

消費者行政の推進につきましては、消費生活相談室を市役所内に新たに設置し、消費生活相談体制の整備及び強化を図り、消費者被害の未然防止による消費生活の安定に努めてまいります。

交通安全対策につきましては、大仙市内での交通事故件数、死傷者とも前年に比べ減少しておりますが、高齢者対策にも重点を置きながら、大仙警察署等関係機関・団体と

の連携を図り、事故撲滅に向け取り組んでまいります。

第3回目となる交通安全推進集会については、平成23年度は中仙地域を会場に、第4回目となる安全安心まちづくり推進大会については、7月19日に大曲市民会館小ホールを会場に開催いたします。

消防団員については、消防団協力事業所制度の周知を図るとともに、女性団員やOB団員の活用を図る協力員を募集し、団員の確保に努めてまいります。

次に、地域情報・交流分野についてであります。

地域情報化の推進につきましては、超高速・大容量のデータ通信ができるネットワークサービスの安定した提供と、地上デジタルテレビ放送の安定した再送信の維持管理を行うとともに、地デジ化により発生する新たな難視聴地域の解消を図ってまいります。

通信事業者が光ケーブル網の整備を進めている神岡地域全域、西仙北地域の一部及び中仙地域の一部については、平成23年10月をめどに完成するよう通信事業者に要望してまいります。

また、光ケーブル網の活用について、情報関連企業や通信事業者と連携を図り、新たな活用策の普及・支援を図ってまいります。

携帯電話の不感地域の解消については、大曲地域内小友の小出沢地区、西仙北地域大沢郷上布又地区及び下布又地区及び太田地域と中仙地域の間に位置する真木・フカウヂ地区に移動通信用鉄塔施設を整備してまいります。

男女共同参画推進につきましては、市民や事業所を対象に意識高揚や知識習得のための啓発活動を推進するほか、講座や研修会などを実施し、男女共同参画の実現に努めてまいります。

国際交流の推進につきましては、新規事業として、韓国唐津郡守の大曲の花火への招聘や唐津郡とのスポーツ交流を進めてまいります。

また、「国際交流に関する連携プログラム協定書」に基づき、国際教養大学の留学生と市内小・中学校の児童生徒並びに幼稚園・保育園児による交流を継続するほか、平成23年度から新たな取り組みとして、職員を国際教養大学に派遣し、国際教養教育及び国際交流の一層の推進を図ってまいります。

少子化対策につきましては、市民と行政の協働により脱少子化に向けた取り組みとして新たに「むすび・サポート事業」を実施し、仮称ではありますが婚活支援センター設立等について検討してまいります。

次に、計画の推進にあたっての基本的な考え方についてであります。

先ほどから、市の主要課題並びに平成23年度の当初予算と主な施策の概要について申し上げてまいりましたが、これらの課題や施策を解決・推進していくためには、実行者である行政側の推進体制の整備と、まちづくりに対する市民の皆様の積極的な参画が何より重要であると認識しております。

推進体制の整備につきましては、地方分権の進展や社会経済情勢の変化による行政需要の多様化・高度化、今後の大量退職による職員数の減少などを踏まえ、質の高い行政サービスの実現と事務の簡素化・効率化を目指し、平成23年度において組織機構を再編いたします。

これまでの本庁7部33課、7総合支所28課、教育委員会9課7分室、議会事務局及び行政委員会5事務局の計82課2公営企業体制から、本庁7部29課、7支所14課、教育委員会2部5課、議会事務局及び行政委員会5事務局の計53課2公営企業体制に再編し、簡素で機能的な組織機構による質の高いサービスの提供に努めてまいります。

市民参画につきましては、市民と行政による協働のモデル事業として実施している桜守プロジェクトについて、引き続き、地域住民や事業者、行政が一体となって、市の代表的な公園の桜の病気駆除や樹木更新等により再生を図る取り組みを進めるほか、各地域の桜保全活動に対する支援を行ってまいります。

また、さらなる住民自治を進める観点から既存の施策のあり方を再検討するとともに、これまでの枠にとらわれない自治会の相互連携や世代を超えた地域自治及び交流活動の活性化や、それに対する市としての支援のあり方などに関する構想を策定するための調査を実施してまいります。

さらに、新たに「がんばる集落活性化支援事業」を創設し、地域住民自らが地域の課題や将来像を検討・共有する自主的・主体的な地域づくり活動の促進を図り、集落機能の維持と活性化につなげてまいります。

集落支援員につきましては、昨年7月に西仙北・協和・南外の3地域において試験的に導入し、アンケート調査や集落点検、住民との話し合いを実施しながら、集落内の現状や課題などの把握に努めているところでありますが、平成23年度には「がんばる集落活性化支援事業」を活用したコミュニティ機能の再生・活性化につながる具体策について検討・実施してまいります。

むすびになります。私は、これまで申し上げてまいりました各種施策への取り組みを着実に進め、本市の厳しい経済状況を打開し、将来都市像であります「人が生き人が集う夢のある田園交流都市」の実現に向け、市民本位・市民主体の市政の推進に努めてまいりたいと存じます。

昨年この場において、江戸時代末期の篤農家であり、改革者でありました二宮尊徳の「大事をなさんと欲せば、小なる事をおこたらず勤むべし、小積もりて大となればなり」という言葉を引用させていただきましたが、この言葉の意味を今一度噛み締め、市民のために「何が必要か」、「何をなすべきなのか」を捉えながら、一步一步着実に、そしてしっかりと地域の発展に努め、市民が希望を持ち、安心して暮らせるまちを将来に残してまいりたいと考えております。

市民の皆様及び議員各位のさらなるご支援・ご協力をお願い申し上げまして、施政方針とさせていただきます。ありがとうございます。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第5、議案第23号及び日程第6、議案第24号の2件を一括して議題といたします。

本2件は、議会運営委員長佐藤隆盛君から提出されております。

お諮りいたします。議案第23号及び議案第24号の2件については、会議規則第37条第3項の規定により、提案理由の説明を省略いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本2件については、提案理由の説明は省略することに決しました。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

ただいま議題となっております本2件については、会議規則第37条第2項の規定により、委員会に付託はいたしません。

これより討論を行います。討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 討論なしと認めます。

これより、議案第23号及び議案第24号の2件を一括して採決いたします。本2件は、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(児玉裕一君) ご異議なしと認めます。よって本2件は、原案のとおり可決されました。

○議長(児玉裕一君) 次に、日程第7、議案第25号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。老松総務部長。

○総務部長(老松博行君) 【登壇】 それでは、ご説明申し上げます。

お手元の資料No. 1の議案書をご覧いただきたいと思います。

1ページになります。

議案第25号、大仙市地域情報通信基盤光ファイバ網敷設工事請負契約の変更について、ご説明申し上げます。

この工事は、平成22年4月28日に議決をいただき、現在施工中であります。工事費等の精算に伴い減額が生じたため、契約金額を変更する必要があることから、変更契約を締結することについて、大仙市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決をお願いするものであります。

変更の内容につきましては、契約金額を16億125万円から1億6,587万7,264円減額し、14億3,537万2,736円に変更するものであり、光ファイバケーブルの敷設ルートの変更及び光を電気に変換する装置の設置個数の減少などによるものであります。

なお、あわせて、工期の終期につきましても、平成23年2月28日から平成23年3月11日に変更することとしております。

以上、議案第25号につきましてご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長(児玉裕一君) これより質疑に入ります。質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(児玉裕一君) 質疑なしと認めます。

本件については、企画産業常任委員会に付託いたします。

企画産業常任委員会審査のため、暫時休憩いたします。再開時刻は、後ほどご連絡い

たします。

午前 11 時 17 分 休 憩

午前 11 時 53 分 再 開

○議長（児玉裕一君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

○議長（児玉裕一君） 日程第7、議案第25号を再び議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。企画産業常任委員長25番橋村誠君。はい、25番。

○企画産業常任委員長（橋村 誠君）【登壇】 休憩前の本会議において、当常任委員会に審査付託となりました事件につきまして委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

議案第25号「大仙市地域情報通信基盤光ファイバ網敷設工事請負契約の変更について」につきましては、当局からの内容説明に対し、質疑において、委員から「地上デジタル放送再送信分の設計費の額については増額となっているが、これは当初の積算が概略で行ったためでないのか。」という質疑があり、それに対して当局からは「国に提出するため、また、施工上必要なため、詳細な図面を作成する必要が生じたことから増額となったものである。」との答弁がありました。

その他、2、3の質疑がありましたが、当局説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は同意すべきものと決した次第であります。

以上、報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 討論なしと認めます。

これより、議案第25号を採決いたします。本件に対する委員長報告は同意であります。本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、同意することに決しました。

○議長（児玉裕一君） 申し上げます。この際、昼食のため暫時休憩いたします。本会議は午後1時に再開いたします。

午前11時55分 休 憩

.....

午後 0時59分 再 開

○議長（児玉裕一君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

○議長（児玉裕一君） 日程第8、議案第26号から日程第66、議案第84号までの59件を一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。老松総務部長。

○総務部長（老松博行君）【登壇】 それでは、ご説明申し上げます。

はじめに、お手元の資料No. 1の議案書をご覧いただきたいと思います。

2ページと3ページになります。

議案第26号、大仙市移動通信用鉄塔設置条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、携帯電話の不感地帯を解消するために整備中の西仙北地域の移動通信用鉄塔の供用を開始するため、名称及び位置を条例規定するもので、西仙北土川太田谷地無線局については公布の日から、西仙北大沢郷秋通無線局については平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、4ページから7ページになります。

議案第27号、大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

市の部長、課長級職員の給料につきましては、合併時の給料格差のほか、人事院勧告による引き下げなどもあり、部長級と課長級、さらには主幹級との給料の差が縮まってきており、場合によっては、上位の職員と下位の職員の給料が逆転することも懸念される状況にあります。

このため、職務・職責に応じた適正な給料格差を設けて、こうした状況を改善するほか、ラスパイレス指数の向上を図るとともに、適正な昇任などの管理を行うため、行政職給料表を現行の7級制から8級制に変更するものであります。

具体的には、行政職給料表に部長級を対象とする8級の欄を新設するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、8ページから10ページまでになります。

議案第28号、大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

語学指導等を行う外国青年招致事業により配置している国際交流員及び外国語指導助手につきましては、現在、その身分を地方公務員法第22条の規定に基づく臨時的任用職員として取り扱っております。

しかしながら、このたび、総務省から地方公務員法第3条第3項第3号の規定に基づく特別職の非常勤職員であるとの見解が示されたことから、これを踏まえ、国際交流員及び外国語指導助手の報酬、費用弁償等に関する規定を整備するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

なお、これによる国際交流員及び外国語指導助手の待遇に変更はないものであります。

次に、11ページと12ページになります。

議案第29号、大仙市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、市の特別会計のうち、土地取得特別会計及び介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計を廃止するものであります。

土地取得特別会計につきましては、公共用地の先行取得という所期の設置目的を達し、今年度をもって用地取得に係る市債の償還が終了すること、また、介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計につきましては、介護老人福祉施設が今年度をもってすべて法人化されることによるもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、13ページと14ページになります。

議案第30号、大仙市肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、国の三位一体の改革に従い、この基金を構成する国の交付金相当分を平成18年度から順次、国に返還しておりますが、平成22年度の返還分である224万9

千円を基金の額から減ずるもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、15ページ・16ページになります。

議案第31号、大仙市水洗便所等改造資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

市におきましては、水洗化率向上対策事業として、平成21年度に新規加入から6カ月間の下水道使用料の免除を行った際、これによる減収分を補てんする予定で、平成21年4月1日に当時の1億1,300万円から1,241万1千円を取り崩すこととし、1億58万9千円に減額する条例改正を行ったところであります。

しかしながら、結果として取り崩さなかったため、現在、条例上の額は1億58万9千円で、実際の基金残高は条例改正前の1億1,300万円となっていることから、この不整合を是正するため、条例上も1億1,300万円に金額を戻すものであります。

また、この水洗便所等改造資金貸付制度につきましては、最近の貸付状況などから、より少額の基金で運用可能であることから、この際、基金を6,000万円減額して5,300万円にするものであります。

基金の額を1億1,300万円に戻す改正は公布の日から、基金を5,300万円に減額する改正は平成23年4月1日から施行することとしております。

なお、これによる減額分につきましては、この基金の原資である協和環境保全基金に戻し入れることとしております。

次に、17ページ・18ページになります。

議案第32号、大仙市立太田緑地広場条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、太田地域に整備が完了した太田^{そうぎょうおおつみ}惣行大堤森林緑地広場について、平成23年度から供用を開始するため、名称及び位置を条例規定するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、19ページと20ページになります。

議案第33号、大仙市牧野条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

協和地域の小種地区牧野につきましては、地元畜産農家で組織する草地利用組合が採草地として利用していましたが、同組合がほかに飼料を確保し、同牧野を利用する必

要がなくなったことから、これを廃止するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、21ページと22ページになります。

議案第34号、大仙市高速自動車国道活用施設ぬく森プラザ条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

西仙北インターチェンジの設置を実現するための前段として、秋田自動車道との連結許可を受けて設置した高速自動車国道活用施設ぬく森プラザにつきましては、今般、西仙北インターチェンジがETC専用のインターチェンジ、いわゆるスマートインターチェンジに変更されるに当たりまして、秋田自動車道と市道との連結が許可され、先のぬく森プラザの連結許可が廃止されることに伴い、ぬく森プラザはその役割を終えることとなります。

このようなことから、本案は、改めてこの施設を観光情報の提供の場及び自動車等のドライバーのための休憩施設として活用するため、所要の改正を行うものであります。

また、現在、同施設の管理については指定管理者に限られておりますが、直営もできることとする規定及び損害賠償に係る規定を整備するほか、文言、条整理を行うもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、23ページ・24ページになります。

議案第35号、大仙市児童館及び児童センターに関する条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、公共施設見直し計画に基づき、大曲地域の余り目児童館、神岡地域の関金、戸月、高花、新道の各児童館及び西仙北地域の強首児童館の建物を地元自治会に無償譲渡するため、これらの児童館を廃止するものであります。

施行期日につきましては、余り目、関金、強首の3児童館にあつては平成23年4月1日から、戸月、高花、新道の3児童館にあつては、譲渡先となる認可地縁団体の設立に要する期間を考慮し、平成23年7月1日から施行することとしております。

次に、25ページと26ページになります。

議案第36号、大仙市保健センター設置条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、南外保健センターにつきまして、老朽化が著しいこと、また、同センターで行っていた業務は代替施設で実施可能であることから、これを廃止するもので、平成

23年4月1日から施行することとしております。

次に、27ページ・28ページになります。

議案第37号、大仙市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

国の緊急少子化対策に準じて、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間に出産した場合における出産育児一時金の額を暫定的に附則において39万円としておりますが、本案は平成23年4月1日からこれを本則規定の額として支給するほか、所要の条文整理等を行うもので、適用に関する経過措置を設けて、一部を除き平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、29ページから33ページまでになります。

議案第38号、大仙市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、道路施行令に準じて定めている道路占用料について、固定資産の評価替えに伴い、同施行令が改正されたことから、これに準じて、議案記載のとおり占用料を改定するもので、平成23年4月1日から施行するものであります。

次に、34ページ・35ページになります。

議案第39号、大仙市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、西仙北地域刈和野地区の北ノ沢市営住宅駐車場の整備が完了したことから、供用を開始するため、同駐車場を条例規定するとともに使用料を規定するものであります。

なお、市営住宅駐車場の使用料の額につきましては、これまでは近隣の民間駐車場の状況を勘案して設定しておりましたが、市独自の基準を設けて設定することとし、既に使用料を徴収している他の市営住宅の駐車場につきましても、この基準により算定し、所要の改正を行うものであります。

具体的には、北ノ沢市営住宅駐車場の使用料を1区画1カ月につき1,300円とするほか、神岡市営住宅駐車場につきましては、1区画1カ月につき現行1,570円を1,300円に改定するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、36ページから47ページまでになります。

議案第40号、大仙市下水道条例の一部を改正する条例の制定について並びに議案第

41号、大仙市農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、関連がありますので一括してご説明申し上げます。

下水道使用料と農業集落排水施設使用料につきましては、合併前の市町村間で額の差が大きかったことから、合併時に統一できず、合併後に先送りしてきた経緯がありますが、平成20年度に使用料体系の統一に向けた第1回の使用料改定を行っております。

これら使用料の額は、受益者負担の原則から事業運営に係る必要額からその額を設定すべきではありますが、現段階ではこうした方式をとった場合、著しく高額となるため、必ずしも円滑な事業運営が図れるとの見通しが立たないことから、経過を見据えながら今後の課題とすることとし、今般、まずは公平性の観点から地域ごとに異なる使用料を統一すること、また、経営基盤の強化を図るため、国の示す使用料水準とすることの2点を主眼に第2回の使用料改定を行うもので、平成23年11月1日から施行することとしております。

具体的な内容についてであります。下水道使用料につきましては、従量制を採用しているものにあつては月額の基本使用料を1,470円とし、11m³以上の部分については、それぞれ汚水排除量に応じて議案記載のとおり額が加算されるものであります。

また、定額制を採用しているものにあつては1戸当たりの月額基本使用料を1,470円とし、人数に応じて議案記載のとおり額が加算されるものであります。

また、農業集落排水施設の使用料につきましても、43ページになりますが、下水道と同様の額となっております。ただし、大曲地域の定額制の基本使用料につきましては、事業運営に係る必要額から算定された経緯を考慮し、現行の2,410円としております。

なお、平成23年11月から平成26年5月まで、また、平成26年6月から平成29年5月までのそれぞれの期間において、急激な負担の増加とならないよう、地域ごとに段階的な使用料とする激変緩和措置を講ずることとしております。

次に、48ページから51ページまでになります。

議案第42号、大仙市戸別浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、下水道及び農業集落排水施設の使用料を改定することに伴い、西仙北地域及び協和地域に設置している市町村設置型の戸別浄化槽の使用料について、その受益内容が下水道や農業集落排水施設と同等であることから、これらを考慮し、使用料の改定を

行うもので、平成23年11月1日から施行することとしております。

具体的な内容についてであります。月額の基本使用料を1,160円とし、11m³以上の部分については、それぞれ汚水排除量に応じて議案記載のとおり額が加算されるものであります。

なお、平成23年11月から平成26年5月までの期間において、急激な負担の増加とならないよう激変緩和措置を講ずることとしております。

次に、52ページと53ページになります。

議案第43号、大仙市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、平成24年度に設置する統合小・中学校の名称につきまして、平成22年第4回大仙市議会定例会において、仮称で条例改正の議決を得ておりますが、今般、正式名称として、それぞれ資料記載のとおり定めるもので、公布の日から施行することとしております。

次に、54ページと55ページになります。

議案第44号、大仙市立教育研究所設置条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、大仙市立教育研究所を大曲図書館2階に移転するため位置を変更するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、56ページ・57ページになります。

議案第45号、大仙市公民館条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、公共施設見直し計画に基づき、大曲公民館川目分館及び神岡中央公民館蒲分館を廃止するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

なお、大曲公民館川目分館は、今後、併設している川目児童館の一部として利用することとし、神岡中央公民館蒲分館については地元の蒲部落会に無償譲渡するものであります。

次に、58ページ・59ページになります。

議案第46号、大曲市へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、川目へき地保育所につきまして、入所児童が少数であることなどから、平成

22年度をもって廃止するほか、高畑へき地保育所の名称を高畑保育園に変更するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、60ページと61ページになります。

議案第47号、大仙市清水診療所設置条例を廃止する条例の制定について、ご説明申し上げます。

中仙地域の清水診療所につきましては、現在、近隣の開業医が週1回通勤して診療を行っておりますが、地域の医師が少ない中、医師の通勤負担の軽減や、設備の整っている当該開業医の医院が近隣にあることなどを考慮し、清水診療所への通院実績のある患者の当該医院への通院を補助することによって、地域の医師及び患者双方にとってよりよい医療環境を整えることとし、これに伴い、清水診療所を廃止するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、62ページと63ページになります。

議案第48号、大仙市北檜岡多目的研修集会施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について、ご説明申し上げます。

北檜岡地区の集会等の開催に当たりましては、近隣の北檜岡公民館の利用が多く、同施設の利用が減少していることから、本案は、公共施設見直し計画に基づき、これを廃止するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

次に、64ページから69ページまでになります。

議案第49号から議案第51号までの3件につきましては、関連がありますので一括してご説明申し上げます。

本3件につきましては、少子化、若者のスキー離れなどによりスキー場の利用者の減少が著しいことから、公共施設見直し計画に基づき、笹倉スキー場、西仙北スキー場及び仙北スキー場を廃止するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

なお、仙北スキー場跡地につきましては、冬季の市民の体力づくりのため、今後は冬季健康広場として市民の利用に供することとしており、名称及び位置を条例規定するため、大仙市仙北健康広場条例の一部改正を行うものであります。

次に、70ページから73ページまでになります。

議案第52号、大仙市地上デジタル放送再送信施設設置条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、西仙北地域大沢郷地区及び土川地区の各一部、協和地域、南外地域並びに太田地域真木地区における地上デジタル放送難視聴を解消するため、地域情報通信基盤整備推進交付金を活用した高速情報通信基盤整備事業として実施している光ファイバケーブル網及び共同受信装置の整備が完了することから、施設の供用を開始するため条例を制定するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

条例の内容についてであります。施設内容とともに、施設の使用料を年額3,600円とするほか、接続工事費の実費相当分を利用者が負担することなど利用に関する事項を規定しております。

次に、74ページ・75ページになります。

議案第53号、大仙市地上デジタル放送再送信施設管理運営基金条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、ただいま議案第52号でご説明申し上げました地上デジタル放送再送信施設の管理運営費及び新たに加入する世帯への接続工事費の財源に充てるため、大仙市地上デジタル放送再送信施設管理運営基金を設置するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

なお、この基金は、地上デジタル放送の難視聴地域解消事業に対する日本放送協会からの助成金などを積み立てて運用することとしております。

次に、76ページ・77ページになります。

議案第54号、大仙市地域中核病院整備支援基金条例の制定について、ご説明申し上げます。

市におきましては、ふるさと納税制度を活用し、大仙市出身者等から寄せられた寄附を大仙市ふるさと応援基金に積み立てておりますが、これらの中には寄附金を仙北組合総合病院の改築支援に活用してほしいという要望があることに加え、地域内からも同様の寄附の申し出があることから同病院の改築支援を目的に広く寄附を募り、これを財源として同病院改築を支援するため大仙市地域中核病院整備支援基金を創設するもので、公布の日から施行することとしております。

次に、78ページから82ページまでになります。

議案第55号、大仙市大曲地域職業訓練センター条例の制定について、ご説明申し上げます。

市が独立行政法人雇用・能力開発機構から管理運営を受託している大曲地域職業訓練

センターにつきましては、同機構では平成22年度をもってその用途を廃止することから、これを市が無償で取得する予定であります。

今後、譲渡契約の締結及び引き渡しが行われますが、本案は引き続き、職業訓練及び専門技能の養成の場を提供するため、市の施設として設置するもので、平成23年4月1日から施行することとしております。

なお、附則で現行の独立行政法人雇用・能力開発機構委託にかかわる大曲地域職業訓練センター使用料条例を廃止するほか、所要の経過措置を設けております。

次に、83ページ・84ページになります。

議案第56号、大曲仙北広域市町村圏組合規約の一部変更について、ご説明申し上げます。

大曲仙北広域市町村圏組合におきましては、平成12年の自治事務次官通知の広域行政圏計画策定要綱が今般廃止されたことに伴い、現行の第四次大曲仙北市町村圏組合計画の最終年度である平成22年度をもって当該計画策定などの事務を廃止することとしております。

また、県及び構成市町の職員研修等が充実してきたことから、同組合による構成市町職員の共同研修も廃止することとしております。

つきましては、これら共同処理する事務を廃止する内容で組合規約の一部を変更することについて、関係地方公共団体で協議するため、地方自治法第290条の規定により議会の議決をお願いするものであります。

次に、85ページになります。

議案第57号、大仙市協和モーターサイクル場の指定管理者の指定について、ご説明申し上げます。

本案は、指定期間の満了に伴い、秋田モータースポーツ振興会を新たに指定するものであり、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決をお願いするものであります。

なお、指定期間は、平成23年4月1日から平成26年3月31日までの3年間としております。

次に、86ページから96ページまでになります。

議案第58号、市道の路線の認定及び廃止について、ご説明申し上げます。

本案は、市道の路線につきまして、事業の完了に伴い52路線を認定し、42路線を

廃止するものであり、これにより市道の路線数は10路線増の6,584路線、実延長は9,537.95m増の319万4,482.74mとなります。

次に、97ページから99ページまでになります。

議案第59号から議案第61号までの各特別会計への繰入額の変更につきましては、関連がありますので一括してご説明申し上げます。

本3件につきましては、宅地造成事業、簡易水道事業及び介護老人保健施設介護サービス事業について、既に議会の議決をいただいている平成22年度一般会計からの事業資金繰入額の上限を変更する必要が生じたので、地方財政法第6条の規定により、議会の議決をお願いするものであります。

各特別会計の繰入額の上限についてであります。宅地造成事業特別会計につきましては、繰入額の上限を1,652万2千円引き上げ2,916万4千円以内に、簡易水道事業特別会計につきましては、繰入額の上限を47万8千円引き上げ6億1,029万7千円以内に、介護老人保健施設介護サービス事業特別会計につきましては、繰入額の上限を2,221万9千円引き上げ1億771万5千円以内とするものであります。

次に、100ページから最後の108ページまでになります。

議案第62号から議案第70号までの9件につきましては、関連がありますので一括してご説明申し上げます。

本9件につきましては、公営企業会計に係る事業の推進を図るため、平成23年度一般会計から事業資金を繰り入れることについて、地方財政法第6条の規定により議会の議決をお願いするものであります。

各特別会計への繰入額についてであります。宅地造成事業特別会計は875万2千円以内、簡易水道事業特別会計は5億6,657万2千円以内、公共下水道事業特別会計は7億6,140万1千円以内、特定環境保全公共下水道事業特別会計は4億4,576万円以内、特定地域生活排水処理事業特別会計は1,244万円以内、農業集落排水事業特別会計は7億406万5千円以内、介護老人保健施設介護サービス事業特別会計は7,047万6千円以内、老人デイサービス事業特別会計は3,026万3千円以内、スキー場事業特別会計は3,702万7千円以内といたしております。

続きまして、お手元の資料No.2の大仙市補正予算書〔3月補正〕をご覧くださいと存じます。

はじめに1ページになります。

議案第71号、平成22年度大仙市一般会計補正予算（第12号）について、ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、事業費の確定に伴う補正、財政調整基金積立金及び長期債の利子軽減を図るための借り換えの実施に伴う長期債元金償還金などの補正が主なものであり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ7億2,110万8千円を追加し、補正後の予算総額を487億5,321万8千円とするものであります。

なお、継続費につきましては、契約額の確定に伴う大曲小学校校舎耐震補強事業費の変更について、また、繰越明許費につきましては、地域中核病院高度化整備事業費のほか10件の追加及び変更について及び債務負担行為につきましては指定管理料2件の追加について、それぞれ設定するものであります。

それでは、補正予算の概要について、事項別明細書に基づきまして歳入から順にご説明申し上げます。

15ページをご覧くださいと思います。

歳入6款地方消費税交付金は、22年度の交付見込みにより3,712万9千円の補正。

9款地方特例交付金は、22年度の交付実績により675万円の補正。

10款地方交付税は、普通交付税として2億9,400万3千円、特別交付税として1億3,864万円の補正であります。

12款分担金及び負担金は、移動通信用鉄塔施設整備費分担金及び農地農業用施設災害復旧事業費分担金として173万2千円の減額補正であります。

16ページになります。

13款使用料及び手数料は、932万1千円の減額補正であります。

使用料は、市民ゴルフ場使用料など578万7千円の減額補正、手数料は、建築確認申請手数料など353万4千円の減額補正であります。

14款国庫支出金は、716万1千円の減額補正であります。

国庫負担金は、国民健康保険保険基盤安定負担金、障がい福祉サービス事業費負担金など、合わせて2,341万4千円の補正であります。

国庫補助金は、国の補正予算に係る住民生活に光をそそぐ交付金の二次配分通知による補正のほか、地域住宅交付金事業費補助金、安全・安心な学校づくり交付金などの減により2,889万1千円の減額補正であります。

委託金は、子ども手当事務費交付金として168万4千円の減額補正であります。

15款県支出金は、671万1千円の補正であります。

県負担金は、国民健康保険及び後期高齢者医療保険に係る保険基盤安定負担金、障がい福祉サービス事業費負担金など6,086万2千円の補正であります。

18ページになります。

県補助金は、移動通信用鉄塔施設整備事業費補助金、障がい者自立支援臨時対策事業費補助金、地域水田農業支援緊急対策事業費補助金など3,376万2千円の減額補正であります。

委託金は、参議院議員通常選挙費委託金、ほ場整備換地事業費委託金などとして2,038万9千円の減額補正であります。

16款財産収入は、各種基金の預金利子のほか、西仙北インターチェンジのスマートインターチェンジ化に伴い、インターチェンジの標識版などの物品等を東日本高速道路株式会社へ売り渡す収入など、合わせまして1,665万8千円の補正であります。

20ページになります。

17款寄附金は、民生費寄附金及び大仙市ふるさと応援寄附金として756万2千円の補正。

18款繰入金は、肉用牛特別導入事業基金など279万6千円の補正であります。

19款繰越金は、前年度繰越金として3,680万8千円の補正であります。

20款諸収入は、介護予防事業受託費の減のほか、秋田県後期高齢者医療広域連合派遣職員人件費清算金の補正などとして56万5千円の補正であります。

21款市債は、22ページになりますけれども、地域中核病院高度化整備事業債、小・中学校施設整備事業債など対象事業費の実績見込みによる補正のほか、長期債の利子軽減を図るために実施する繰上償還に係る借換債などを含め、合わせて1億9,170万円の補正であります。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

2款総務費は、2億8,553万4千円の補正であります。

主な内容といたしまして、生活バス路線運行維持対策経費は、バス事業者への補助金として7,161万円の補正、移動通信用鉄塔施設整備事業費は、西仙北地域の事業費の実績により1,013万8千円の減額補正、財政調整基金積立金は、基金の預金利子分と合わせまして2億5,054万2千円の補正。24ページになります。ふるさと応援

援基金積立金は、ふるさと納税における寄附金の積立金として624万5千円の補正、地域中核病院整備支援基金積立金は、仙北組合総合病院の改築事業を支援する寄附金を積み立てるもので100万円の補正であります。

3款民生費は、1億3,039万2千円の補正であります。

主な内容といたしまして、国民健康保険事業特別会計繰出金は、保険基盤安定及び財政安定化支援分等の実績見込みにより8,884万7千円の補正、障がい福祉サービス給付費は、利用者の増及び低所得者の自己負担の無料化に伴う公費負担の増などにより5,247万7千円の補正、高齢者等除雪サービス事業費は、豪雪による利用者の増及び利用回数の増見込みにより377万9千円の補正、介護予防事業費は、実績により1,173万8千円の減額補正、広域市町村圏組合介護保険事業費負担金は、介護給付費などの実績見込みにより307万6千円の補正。26ページになります。介護老人保健施設介護サービス事業特別会計繰出金は、診療報酬の減見込みなどにより2,221万9千円の補正、子ども手当は、支給対象児童数の減により899万5千円の減額補正、生活扶助費等は、過年度国庫負担金の確定による返還金として1,193万2千円の補正であります。

4款衛生費は、950万4千円の補正であります。

主な内容といたしまして、保健事業費は、各種検診の実績見込みにより1,265万6千円の減額補正、歯科診療所勘定特別会計繰出金は、診療収入の減に伴い、不足分を繰り出す経費として140万円の補正、浄化槽設置整備事業費補助金は、申請件数の減により1,082万8千円の減額補正、後期高齢者医療費等負担金は、現年度療養給付費負担金の確定等により2,104万4千円の補正、後期高齢者医療特別会計繰出金は、保険基盤安定負担金の確定により1,839万1千円の補正であります。

28ページになります。

5款労働費は、183万2千円の補正であります。

主な内容といたしまして、緊急雇用創出臨時対策基金事業費は、実績見込みにより206万4千円の減額補正、大仙市雇用助成金及び緊急雇用助成金は、申請件数の増見込みにより、それぞれ315万円、225万円の補正であります。

6款農林水産業費は、4,175万4千円の減額補正であります。

主な内容といたしまして、各事業費の実績見込みにより、“今こそチャレンジ”農業夢プラン応援事業費は738万5千円の減額補正、経営体育成交付金事業費は450万

円の減額補正、地域水田農業支援緊急対策事業費は800万5千円の減額補正、換地処分等業務費は、神岡地域、中仙地域及び南外地域に係る分について、合わせて1,508万1千円の減額補正であります。

30ページになります。

7款商工費は、2,505万4千円の減額補正であります。

主な内容といたしまして、中小企業振興融資あっせん制度保証料補給金、中小企業振興設備資金融資利子補給金、中小企業振興緊急経営安定資金融資利子補給金は、当初見込みを下回ったことにより、それぞれ819万8千円、450万円、1,900万円の減額補正、空き工場等再利用助成金は、空き工場を利用して操業を開始した3社に対する補助金として662万8千円の補正であります。

8款土木費は、1億6,417万9千円の補正であります。

主な内容といたしまして、除雪対策費は、市道の幅員確保及び車道と歩道間の雪の壁の排雪など、除雪並びに排雪に係る回数が増により1億8,999万8千円の補正、住宅リフォーム支援事業費は、実績見込みにより1,000万円の減額補正、地域住宅交付金事業費は、神岡市営住宅の下水道切替工事及び西仙北地域の北ノ沢市営住宅建設事業に係る実績により1,709万6千円の減額補正であります。

また、特別会計予算の補正に伴い、土地区画整理事業特別会計繰出金は1,119万1千円の減額補正、宅地造成事業特別会計繰出金は1,652万2千円の補正であります。32ページになります。公共下水道事業特別会計繰出金は54万円の補正、特定環境保全公共下水道事業特別会計繰出金は27万8千円の減額補正などあります。

9款消防費は、348万7千円の減額補正であります。

内容といたしまして、大曲仙北広域市町村圏組合負担金は488万7千円の減額補正、消防団管理運営費は、消防団員の費用弁償として140万円の補正であります。

34ページになります。

10款教育費は、1億8,017万円の減額補正であります。

主な内容といたしまして、小学校費・中学校費における学校施設耐震化事業費は、事業費の確定により、小学校費においては1億7,155万7千円の減額補正、また、中学校費においても1,071万7千円の減額補正、公民館費や生涯学習施設費に係る補正は、燃料単価の高騰による各施設の燃料費に係る補正であります。保健体育総務費補助金は、大仙市スポーツ少年団大会派遣費補助金として125万2千円の補正でありま

す。

36ページになります。

11款災害復旧費は、1,012万2千円の減額補正であります。

内容といたしまして、農地農業用施設災害復旧事業費（単独分）及び農地等災害復旧事業費補助金は、夏の豪雨により被災した農地等の復旧費の確定により、それぞれ446万7千円、565万5千円の減額補正であります。

12款公債費は、3億9,025万4千円の補正であります。

主な内容といたしまして、長期債元金償還金は、県の市町村振興資金を活用した借換債の発行により4億2,330万円の補正、長期債利子償還金は、実際の借入利率が当初見込んだ借入利率を下回ったことにより2,904万6千円の減額補正であります。

以上が一般会計分であります。

次に、43ページになります。

議案第72号、平成22年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第6号）につきましては、事業勘定及び診療所勘定の補正並びに歯科診療所勘定の歳入予算の組替補正をするものであります。

事業勘定は、一般被保険者療養給付費及び保険財政共同安定化事業拠出金の実績見込みなどによる補正であり、歳入歳出予算の総額から、それぞれ1億3,075万7千円を減額し、補正後の予算総額を102億5,007万9千円とするものであります。

診療所勘定は、診療収入の減に伴う基金繰入金などに係る補正であり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ40万5千円を追加し、補正後の予算総額を1億8,044万5千円とするものであります。

歯科診療所勘定は、診療収入の減について一般会計からの繰入金で補てんする歳入の組替補正であります。

はじめに、事業勘定についてご説明申し上げます。

50ページをご覧いただきたいと思っております。

歳入3款国庫支出金は、療養給付費負担金など6,801万2千円の減額補正。

6款県支出金は、都道府県財政調整交付金などとして7,155万2千円の補正。

7款共同事業交付金は、保険財政共同安定化事業交付金などとして2億2,341万9千円の減額補正。

8款財産収入は、財政調整基金預金利子として27万5千円の補正。

9 款繰入金は、保険基盤安定繰入金などの一般会計繰入金として 8, 8 8 4 万 7 千円の補正であります。

5 2 ページになります。

歳出 1 款総務費は、国保連合会システム改修費の市負担金等に係る管理事務費などとして 3 3 4 万 6 千円の補正。

2 款保険給付費は、実績見込みに伴う退職被保険者療養給付費などとして 4, 2 7 9 万 2 千円の補正であります。

5 4 ページになります。

7 款共同事業拠出金は、実績見込みに伴う保険財政共同安定化事業拠出金などとして 1 億 7, 7 1 7 万円の減額補正。

1 1 款基金積立金は、財政調整基金積立金として 2 7 万 5 千円の補正であります。

6 2 ページになります。

次に、診療所勘定についてご説明申し上げます。

歳入 1 款診療収入は、実績見込みに伴う外来収入として 2 5 3 万 8 千円の減額補正。

5 款繰入金は、財政調整基金繰入金として 2 5 3 万 8 千円の補正。

7 款諸収入は、財政調整基金預金利子として 4 0 万 5 千円の補正であります。

歳出 2 款医業費は、薬剤費の使用増に伴う医療用材料品費と消耗器材費の組替補正であります。

6 4 ページになります。

次に、4 款財産費は、財政調整基金利子分の積立金として 4 0 万 5 千円の補正であります。

6 8 ページになります。

次に、歯科診療所勘定についてご説明申し上げます。

歯科診療所勘定は、診療収入の実績見込みに伴い一般会計からの繰入金を補正する歳入組替補正であります。

次に、議案第 7 3 号、平成 2 2 年度大仙市老人保健特別会計補正予算（第 2 号）につきましては、特別会計の廃止に伴う一般会計繰出金に係る補正であり、それぞれ 1 0 4 万 8 千円を追加し、補正後の予算総額を 1 7 1 万 7 千円とするものであります。

7 4 ページになります。

歳入 5 款繰越金は、前年度繰越金として 3 万 8 千円の補正。

6 款諸収入は、診療報酬返還金などとして 1 0 1 万円の補正であります。

歳出 3 款諸支出金は、特別会計を廃止することに伴う一般会計繰出金として 1 0 4 万 8 千円の補正であります。

7 7 ページになります。

次に、議案第 7 4 号、平成 2 2 年度大仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）につきましては、後期高齢者医療広域連合への納付金に係る補正であり、歳入歳出予算の総額から、それぞれ 6, 6 6 3 万 4 千円を減額し、補正後の予算総額を 8 億 2, 5 3 0 万 7 千円とするものであります。

8 2 ページになります。

歳入 1 款後期高齢者医療保険料は、特別徴収・普通徴収保険料現年度分として 8, 6 9 3 万 3 千円の減額補正。

3 款繰入金は、一般会計繰入金として 1, 8 3 9 万 1 千円の補正。

4 款繰越金は、前年度繰越金として 1 9 0 万 8 千円の補正であります。

歳出 1 款総務費は、財源振替であります。

8 4 ページになります。

2 款後期高齢者医療広域連合納付金は、実績見込みにより 6, 6 6 3 万 4 千円の減額補正であります。

次に、議案第 7 5 号、平成 2 2 年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算（第 4 号）につきましては、事業費の確定及び公債費の実績見込みに伴う補正であり、歳入歳出予算の総額から、それぞれ 2, 7 0 8 万 7 千円を減額し、補正後の予算総額を 1 6 億 3, 4 0 1 万 7 千円とするものであります。

また、繰越明許費につきましては、大曲駅前第二地区土地区画整理事業費の補助分に係る建物移転補償費及び区画道路新設工事費について設定するものであります。

9 2 ページになります。

歳入 1 款使用料及び手数料は、都市再生住宅使用料などとして 3 2 3 万 6 千円の補正。

2 款国庫支出金は、補助金額の確定により 7 5 3 万 2 千円の減額補正。

4 款繰入金は、一般会計繰入金として 1, 1 1 9 万 1 千円の減額補正。

8 款市債は、大曲駅前第二地区土地区画整理事業債及び住宅市街地総合整備事業債として 1, 1 6 0 万円の減額補正であります。

歳出 1 款事業費は、大曲駅前第二地区土地区画整理事業費補助分及び住宅市街地総合

整備事業費などの事業費の確定により2,070万8千円の減額補正であります。

94ページになります。

2款公債費は、償還額の確定による長期債利子償還金として637万9千円の減額補正であります。

97ページになります。

次に、議案第76号、平成22年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第1号）につきましては、奨学資金貸付金の実績見込みに伴う補正及び奨学基金積立金の補正であり、歳入歳出予算の総額から、それぞれ411万6千円を減額し、補正後の予算総額を3,461万6千円とするものであります。

102ページになります。

歳入1款財産収入は、奨学基金預金利子として5万9千円の補正。

2款寄附金は、3万5千円の補正。

3款繰入金は、奨学基金繰入金として421万円の減額補正であります。

歳出1款奨学資金事業費は、実績による奨学資金貸付金及び奨学基金積立金として411万6千円の減額補正であります。

105ページになります。

次に、議案第77号、平成22年度大仙市宅地造成事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、土地売払収入の減見込みに伴う補正及び繰上償還の実施に係る補正であり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ520万6千円を追加し、補正後の予算総額を4,082万4千円とするものであります。

110ページをお願いします。

歳入1款財産収入は、木売沢地区の土地売払収入のほか、年度内の売却が見込めない払田地区の土地売払収入などについて1,131万6千円の減額補正。

2款繰入金は、一般会計繰入金として1,652万2千円の補正であります。

歳出1款事業費は、木売沢地区宅地造成事業費の繰上償還経費として520万6千円の補正であります。

113ページになります。

次に、議案第78号、平成22年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）につきましては、簡易水道事業債の繰上償還に係る補正であり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億1,748万1千円を追加し、補正後の予算総額を16億9,912万3

千円とするものであります。

119ページになります。

歳入3款財産収入は、簡易水道事業基金預金利子として3千円の補正。

4款繰入金は、一般会計繰入金として47万8千円の補正。

7款市債は、長期債の利子軽減を図るために実施する繰上償還に係る借換債として1億1,700万円の補正であります。

120ページになります。

歳出1款総務費は、預金利子の積立に係る簡易水道事業基金積立金として3千円の補正。

3款公債費は、長期債の利子軽減を図るための繰上償還の実施に伴う元金償還金として1億1,748万8千円の補正であります。

123ページになります。

次に、議案第79号、平成22年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）につきましては、流域下水道事業費の確定に伴う補正、下水道事業債の繰上償還などに係る補正であり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ9,068万円を追加し、補正後の予算総額を17億1,375万9千円とするものであります。

繰越明許費につきましては、流域下水道事業費負担金について、また、債務負担行為の設定につきましては、水洗便所改造資金利子補給費の平成22年度資金分について、それぞれ設定するものであります。

131ページになります。

歳入2款使用料及び手数料は、下水道使用料として484万円の補正。

4款繰入金は、一般会計繰入金として54万円の補正。

7款市債は、流域下水道事業債及び長期債の利子軽減を図るために実施する繰上償還に係る借換債として8,530万円の補正であります。

132ページになります。

歳出1款総務費は、流域下水道維持管理費負担金に係る下水道維持管理費として484万円の補正。

2款事業費は、事業費の確定による流域下水道事業費として926万8千円の減額補正であります。

134ページになります。

3 款公債費は、長期債の利子軽減を図るための繰上償還実施に伴う元金償還金の補正として9, 510万8千円の補正であります。

137ページになります。

次に、議案第80号、平成22年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）につきましては、流域下水道事業費の確定に伴う補正及び下水道事業債の繰上償還に係る補正であり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ4, 032万2千円を追加し、補正後の予算総額を8億6, 438万8千円とするものであります。

なお、繰越明許費につきましては、流域下水道事業費負担金について、また、債務負担行為につきましては、特定環境保全公共下水道事業資金融資幹旋利子補給金の平成22年度資金分について、それぞれ設定するものであります。

145ページになります。

歳入4款繰入金は、一般会計繰入金として27万8千円の減額補正。

7款市債は、流域下水道事業債及び長期債の利子軽減を図るために実施する繰上償還に係る借換債として4, 060万円の補正であります。

146ページになります。

歳出2款事業費は、事業費の確定による流域下水道事業費として231万7千円の減額補正。

3款公債費は、長期債の利子軽減を図るための繰上償還の実施に伴う元金償還金の補正及び償還額の確定による長期債利子償還金として4, 263万9千円の補正であります。

151ページになります。

次に、議案第81号、平成22年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）につきましては、農業集落排水事業債償還基金積立金の補正であり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ11万7千円を追加し、補正後の予算総額を17億7, 897万円とするものであります。

債務負担行為につきましては、水洗便所改造資金利子補給費の平成22年度資金分について設定するものであります。

157ページになります。

歳入8款財産収入は、農業集落排水事業債償還基金利子として11万7千円の補正であります。

158ページになります。

歳出1款総務費は、農業集落排水事業債償還基金積立金として11万7千円の補正であります。

161ページになります。

次に、議案第82号、平成22年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）につきましては、介護給付費収入等の減による一般会計繰入金の補正及び燃料費などに係る補正であり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ87万円を追加し、補正後の予算総額を8億3,668万7千円とするものであります。

166ページになります。

歳入1款サービス収入は、施設介護サービス費収入などとして2,134万9千円の減額補正。

4款繰入金は、一般会計繰入金として2,221万9千円の補正であります。

168ページになります。

歳出1款総務費は、八乙女荘及び幸寿園の燃料費の高騰に伴う一般管理費として247万円の補正。

2款サービス事業費は、八乙女荘における医薬品等の減などによる施設介護サービス事業などについて160万円の減額補正であります。

171ページになります。

次に、議案第83号、平成22年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第3号）につきましては、協和スキー場の来場者の増加に伴うスキー場運営費などに係る補正であり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ465万7千円を追加し、補正後の予算総額を6,507万1千円とするものであります。

176ページになります。

歳入1款使用料及び手数料は、スキーリフト運賃として279万円の補正。

4款諸収入は、食堂収入として186万7千円の補正であります。

歳出2款事業費は、協和スキー場の来場者の増加に伴うスキー場運営費及びリフト運転費として465万7千円の補正であります。

179ページになります。

次に、議案第84号、平成22年度大仙市淀川財産区特別会計補正予算（第1号）につきましては、立木損失補償金などの諸収入に伴う一般管理費などについての補正であ

り、歳入歳出予算の総額に、それぞれ 33 万 2 千円を追加し、補正後の予算総額を 203 万 2 千円とするものであります。

184 ページになります。

歳入 4 款諸収入は、立木損失補償金などの雑入として 33 万 2 千円の補正であります。

歳出 2 款総務費は、立木損失補償の収入に伴う一般管理費及び淀川財産区基金積立金として 33 万 2 千円の補正であります。

以上、提出議案につきまして一括してご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第 67、議案第 85 号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。藤田水道局長。

○水道局長（藤田良雄君）【登壇】 補正予算書の 187 ページをお開き願います。

議案第 85 号、平成 22 年度大仙市上水道事業会計補正予算（第 4 号）につきまして、ご説明申し上げます。

今回の補正につきましては、配水施設拡張改良費として大曲橋架替えに伴う水道施設整備工事及び配水管改良工事等の実績見込みによる減額補正と、これらに伴う県からの補償金及び他会計工事負担金などを減額補正するものであります。

また、大曲橋架替えに伴い、新設橋梁へ添架される配水管の支持材の設置について、債務負担行為の設定をお願いするものであります。

第 2 条につきましては、平成 22 年度大仙市上水道事業会計予算第 4 条本文括弧書を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 3 億 7,874 万 4 千円は、過年度分損益勘定留保資金 1 億 6,593 万 1 千円、減債積立金 1 億円、建設改良積立金 1 億円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,281 万 3 千円で補てんするものとする。」に改め、資本的収入及び支出の予定額を補正するものであります。

収入第 1 款資本的収入は 1 億 552 万円の減額補正であります。

第 1 項工事負担金は、下水道整備工事及び大曲駅前第二地区土地区画整理事業に伴う配水管移設工事の実績見込みにより 433 万 4 千円の減額、第 2 項負担金は、消火栓移設工事の実績見込みにより 17 万 3 千円の減額、第 4 項補償金は、大曲橋架替えに伴う水道施設整備工事の実績見込みによる減額と管理棟・車庫棟建築工事及び付随する電気設備、機械設備、場内整備工事の補償について、県との協議において他の水道施設と同

様に、新設する費用をもとに補償額を算定することとして予算計上をしておりましたが、現存する建物の価格をもとに補償金を算定することとなったため1億101万3千円の減額補正をするものであります。

支出第1款資本的支出の第1項建設改良費は、大曲橋架替えに伴う水道施設整備工事及び配水管改良工事等の実績見込みによる6,789万9千円の減額補正であります。

188ページをお願いします。

第3条につきましては、債務負担行為をすることができる事項について、その期間及び限度額を定めるもので、大曲橋架替えに伴う水道施設整備事業、配水管橋梁添架支持材負担金として、県で施工する橋梁上部工工事と同時に設置する必要があるため、支持材の設置の費用を県に負担金として納入するもので、その期間を橋梁上部工工事の平成23年度から24年度とし、限度額を1,000万円とするものであり、財源は自己財源であります損益勘定留保資金を充当するものであります。

以上、議案第85号につきましてご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（児玉裕一君） 申し上げます。この際、暫時休憩いたします。本会議は午後2時20分に再開いたします。

午後 2時09分 休 憩

午後 2時19分 再 開

○議長（児玉裕一君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

○議長（児玉裕一君） 日程第68、議案第86号から日程第88、議案第106号までの21件を一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。久米副市長。

○副市長（久米正雄君）【登壇】 議案第86号、平成23年度大仙市一般会計予算について、ご説明申し上げます。

資料No. 3の各会計予算の1ページをお願いします。

一般会計歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ441億2,523万4千円で、前年度当初予算に比べ5億6,490万7千円の増、率にして1.3%増となっております。

前年度に引き続き、地域の経済情勢を踏まえた「積極型予算」となっております。

また、23年度予算は、市の重点施策である子育て支援や教育の充実を図るほか、新たな農業振興計画のスタートや仙北組合総合病院の移転改築を核とした事業の本格化など、ソフト・ハード両面において地域生活に配慮した予算となっております。

それでは、歳入歳出予算の概要につきましてご説明申し上げます。

7ページになりますが、債務負担行為では、農業経営基盤強化資金等利子補給費ほか3件について設定をお願いするものであります。

次に、事項別明細書により、歳入から順にご説明申し上げます。

18ページをお願いします。

1款市税につきましては、対前年度比0.6%増の77億3,897万1千円を計上しております。

主な税目としては、現年課税分の個人市民税が23億2,416万9千円、法人市民税が5億1,610万3千円、固定資産税が39億3,359万9千円の計上であります。

2款地方譲与税は、地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税について、地方財政計画などを勘案し、対前年度比2.8%減の8億3,272万3千円を計上しております。

3款利子割交付金は、地方財政計画及び前年度決算見込額を勘案し、対前年度比11.6%減の1,726万9千円を計上しております。

4款配当割交付金は、地方財政計画をもとに611万2千円を計上しております。

5款株式等譲渡所得割交付金は、地方財政計画をもとに186万4千円を計上しております。

20ページになります。

6款地方消費税交付金は、地方財政計画及び前年度決算見込額をもとに、対前年度比7.8%増の8億9,452万円を計上しております。

7款ゴルフ場利用税交付金は、大曲地域1カ所と協和地域3カ所の計4ゴルフ場分で1,803万8千円を計上しております。

8款自動車取得税交付金は、地方財政計画及び前年度決算見込額をもとに、対前年度比5.5%減の1億5,006万8千円を計上しております。

9款地方特例交付金は、地方財政計画及び前年度決算額を勘案し、対前年度比11.3%増の1億5,476万円を計上しております。

10 款地方交付税については、対前年度比 5.0% 増の 200 億 6,629 万 2 千円を計上しております。

普通交付税については、地方財政計画及び制度改正による特別交付税からの移行分等を勘案し、当初予算比較で 5.9% 増の 190 億 7,925 万 8 千円を計上しております。

なお、特別交付税は、当初予算比較 9.4% 減の 9 億 8,703 万 4 千円を計上しております。

11 款交通安全対策特別交付金は、対前年度比 7.1% 減の 1,970 万 5 千円を計上しております。

12 款分担金及び負担金は、対前年度比 14.4% 減の 2 億 9,077 万 3 千円を計上しております。

主な項目としては、22 ページになりますが、農林水産業費分担金が 1,523 万 4 千円、保育所保育料負担金など民生費負担金が 2 億 6,365 万 9 千円であります。

13 款使用料及び手数料は、対前年度比 6.2% 増の 5 億 1,192 万 8 千円を計上しております。

主な項目として、光ファイバ網使用料などの総務使用料が 4,217 万 7 千円、土木使用料は、市民ゴルフ場、市営住宅使用料などとして 2 億 73 万 4 千円、幼稚園使用料、各社会教育施設など教育使用料が 4,490 万 4 千円、手数料は戸籍、諸証明手数料、一般廃棄物処理手数料など 1 億 8,449 万 1 千円であります。

26 ページになります。

14 款国庫支出金は、対前年度比 10.2% 増の 49 億 3,669 万 7 千円を計上しております。

主な項目としては、保育所運営費負担金、子ども手当負担金、生活保護費負担金など民生費国庫負担金が 42 億 976 万 4 千円、土木費国庫補助金は、南外 1 号線や上ノ台 1 号線、市街地再開発事業などにかかわる社会資本整備総合交付金などとして 4 億 4,032 万 6 千円、西仙北地域統合小学校整備事業費などに係る学校施設環境改善交付金などの教育費国庫補助金が 1 億 5,369 万 2 千円、委託金は、国民年金事務委託金など 2,965 万 1 千円であります。

15 款県支出金は、対前年度比 21.6% 増の 29 億 4,821 万 8 千円を計上しております。

主な項目としては、国民健康保険・後期高齢者医療保険基盤安定負担金、保育所運営費負担金など民生費県負担金が12億8,999万6千円、移動通信用鉄塔施設整備事業費補助金などの総務費県補助金が1億1,020万3千円、30ページになりますが、医療給付費補助金、すこやか子育て支援事業費補助金などの民生費県補助金が5億4,529万7千円、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進補助金などの衛生費県補助金が1億3,034万2千円、秋田県緊急雇用創出臨時対策基金事業費補助金などの労働費県補助金が2億3,651万7千円、えだまめ日本一産地条件整備事業費補助金、32ページになりますが、農業者戸別所得補償制度推進事業費補助金など新規を含めた農林水産業費県補助金が2億3,608万6千円、委託金は、県民税徴収交付金や秋田県議会議員選挙費委託金など2億2,518万5千円であります。

35ページになります。

16款財産収入は、土地貸付収入、土地売却収入など6,642万1千円を計上しております。

36ページになります。

17款寄附金は、存置項目として1千円を計上しております。

18款繰入金は、2億3,518万1千円を計上しております。

前年度と比較し大幅な増となっているのは、平成18年度に学校給食総合センター建設に伴い発行した「だいせん夢未来債」の満期一括償還を23年度に迎えるにあたり、これまで償還財源として積み立ててきた減債基金繰入金のほか、環境保全基金繰入金、38ページになりますが、水洗便所等改造資金貸付基金繰入金、国の住民生活に光をそそぐ交付金を財源とした基金繰入金などを計上しております。

なお、財政調整基金につきましては、今後の財政運営を勘案し、前年度に引き続き、繰り入れは行っておりません。

19款繰越金は、今冬の除雪経費を勘案し、前年度比5,000万円減の3億円を計上しております。

20款諸収入は、対前年度比3.3%増の18億3,514万8千円を計上しております。

主な項目として、貸付金元利収入は12億7,850万4千円、41ページになりますが、介護予防事業受託費など受託事業収入は2億1,339万1千円、雑入は検診納付金や43ページの入場料等収入、44ページになりますが市町村振興助成金など合わ

せて3億3,515万8千円であります。

47ページになります。

21款市債は、公債費負担適正化計画に則り、市債発行額の抑制を図ったことなどから、対前年度比35.3%減の31億54万5千円を計上しております。

主な項目としては、48ページになりますが、県営ほ場整備事業債などの農林水産業債は9,430万円、道路橋りょう債や都市計画債の土木債は4億9,790万円、教育債は、大曲中学校屋内体育館建設事業債の終了により、前年度比大幅減の1億9,660万円、普通交付税の代替財源である臨時財政対策債は、国の制度変更により前年度に比較し大幅減となる15億5,554万5千円を計上しております。

次に、歳出について順に申し上げます。

1款議会費は、4億673万4千円で、前年度当初と比べて32.1%増となっております。

議会費における主な経費としては、議員報酬・期末手当及び共済費、議会活動費、議会管理費などを計上しており、議員報酬・期末手当及び共済費におきましては、議員年金制度の廃止に伴う経過措置としての給付に必要な経費は、自治体が負担することから増となっております。

50ページとなります。

2款総務費は、45億4,297万4千円で、前年度当初と比べて6.5%減であります。

総務費における主な経費としては、地域公共交通システム運行事業費、男女共同参画推進経費、首都圏等ふるさと会関連経費、財政調整基金積立金のほか、新規事業として、少子化対策として出会い支援や出会いイベントの検討などに取り組む「むすび・サポート事業費」、地域住民組織が行う地域づくり活動に対して支援する「がんばる集落活性化支援事業費」、宮崎市佐土原町との有縁交流提携10周年を記念する「宮崎市佐土原地域交流事業費」などを計上しております。また、地域振興事業費（地域枠）については、地域が主体となって様々な課題に取り組んでいただけるように前年度と同額を確保するなど、所要額を計上しております。

65ページになります。

3款民生費は、127億4,624万5千円で、前年度当初と比べて7.5%の増となっております。

民生費における主な経費としては、介護予防事業費、子ども手当、生活扶助費等のほか、新規事業として、光基金を活用した「障がい者施設支援員等就業推進事業費」、「児童相談強化事業費」、大仙市内の居住者で、かつ市内の就労支援施設等に通所する障がい者やその介護者に対し、通所にかかわる交通費の一部を助成する「障がい者通所施設等交通費助成金支給事業費」などを計上しております。また、支援を要する園児のために支援員を配置する要支援児童保育対策事業費における支援員の拡充を図っており、そのほか、高齢者や障がい者に係る社会福祉費、児童福祉費など安定した社会生活に必要な所要額を計上しております。

76ページになります。

4款衛生費は、52億887万2千円で、前年度当初と比べて7.8%の増となっております。

衛生費における主な経費としては、母子保健推進費、各種検診事業などを実施するための保健事業費、浄化槽設置整備事業費補助金、ごみ収集関係費のほか、新規事業として、重点施策の一つである子育て支援における「子宮頸がん等ワクチン接種経費」を計上しております。これは、子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種に要する経費として実施するものであり、子宮頸がん予防ワクチンについては、国の定める接種対象年齢層の中学1年生から高校1年生のほか、単独事業として高校2年生・3年生も対象とし、その接種経費の無料化を推進するとともに、19歳については、保健事業費の婦人検診において対応してまいります。また、「自殺予防対策費」は、新たに臨床心理士等を配置し、相談支援体制などを強化いたします。「家庭用LED照明購入補助事業費」は、LED電球または照明機器の購入経費に対し助成することで、電力使用量削減による二酸化炭素の排出抑制を図るものであります。また、「廃棄物減量化対策費」につきましては、新たにペットボトルキャップの拠点回収を実施するほか、保健衛生や清掃費など、健康で衛生的な生活環境の充実を図る所要額を計上しております。

83ページになります。

5款労働費は、2億3,315万1千円で、前年度当初と比べ12.6%の増であります。

労働費における主な経費としては、出稼対策費やシルバー人材センター運営費補助金、助成金制度による各雇用助成金のほか、新規事業として、45歳未満の求職者を対象に

就職につながる無料の資格取得講座を開設し、就職活動を支援する「求職者技能教育チャレンジ事業費」、45歳未満の在職者を対象に職業訓練講習の受講を支援する「在職者職業スキルアップ事業費」のほか、切れ目のない雇用対策の実施として、秋田県緊急雇用創出臨時対策基金を活用した「緊急雇用創出臨時対策基金事業費」などの所要額を計上しております。

85ページになります。

6款農林水産業費は、23億8,676万9千円で、前年度当初と比べて13.3%の減であります。

これは、県営土地改良事業費負担金について、23年度事業計画の一部を22年度に前倒ししたことにより、事業費が減となったことが主な要因であります。

農林水産業費における主な経費としては、米粉等消費拡大推進事業費、農業夢プラン実現事業費や県営土地改良事業費負担金のほか、23年度からの新たな農業振興計画のスタートにあわせ、本市の重点野菜3品目（えだまめ・アスパラ・ソラマメ）の出荷拡大を奨励する「大仙重点野菜生産拡大事業費」、本市農業モデル経営体へ支援する「農業トプランナー育成事業費」などの市単独事業を新たに予算計上しております。そのほかの新規事業として、ソフト事業では「未来へのこせ 地域特産野菜等応援事業費」、環境保全米生産支援事業費、ハード事業では「秋田スギ大規模製材工場建設事業費補助金」などを計上しており、このほか、基幹産業である農業振興のための経費、畜産業費、林業支援経費、水産業振興経費についても所要額を計上しております。

98ページになります。

7款商工費は、16億5,884万9千円で、前年度当初と比べて3.0%の増であります。

商工費における主な経費としては、経済・雇用・生活緊急対策第3次行動計画における市内中小企業者への経営支援策である、中小企業振興融資あっせん制度保証料補給金や融資利子補給金、中小企業融資預託金のほか、新規事業として、JR大曲駅に併設する「ふれあい広場」の機能向上を図る「駅ふれあい広場機能向上事業費」、大曲商工会議所と連携しながらフィルムコミッション設立のための「フィルムコミッション事業調査費」などを計上しております。また、補助対象経費の限度額や対象地域を拡充する「がんばる商店等応援事業費補助金」、専門の消費生活相談員を配置し、消費生活相談体制の整備及び強化を図る「消費生活対策事業費」のほか、企業誘致対策費、商業活性

化支援、観光振興にかかわる経費などの所要額を計上しております。

104ページになります。

8款土木費は、45億4,855万6千円で、前年度当初と比べて3.6%増であります。

土木費における主な経費といたしましては、市単独道路整備事業費、維持管理経費、地方特定道路整備事業費のほか、重点施策の一つである仙北組合総合病院の移転改築を核とする「市街地再開発事業費」に本格的に取り組んでまいります。そのほか新規事業として、社会資本整備総合交付金を活用した「南外1号線」、「上ノ台1号線」道路整備事業費、橋梁長寿命化修繕計画を策定する「橋りょう維持費」、「中通線街路整備事業費」を計上しております。なお、除雪対策費については、車両修繕料など所要額の計上であり、今後、9月定例議会で通年ベースに必要な経費を補正計上する予定であります。

111ページになります。

9款消防費は、16億1,308万6千円で、前年度当初と比べて1.0%増であります。

消防費における主な経費といたしましては、消防団管理運営費や消防施設維持管理費、防災対策費のほか、新規事業として、消防団OBで構成し、消防活動の支援を行う消防団協力員制度を新設する「消防団組織活性化対策事業費」などを計上しております。

114ページになります。

10款教育費は、45億4,339万1千円で、前年度当初と比べて4.7%の減であります。

これは、21・22年度と継続事業でありました大曲中学校屋内体育館建設事業が終了したことが主な要因であります。

教育費における主なソフト事業にかかわる経費としては、芸術鑑賞事業費、生涯学習推進費、文化財保護経費、スポーツ・レクリエーションの推進のための経費などのほか、重点施策である教育の充実として、幼稚園、小・中学校における支援を要する幼児・児童生徒をサポートする生活支援員等の経費に、新たに光基金を活用し、4名増員を図る経費や、子ども読書支援サポーターの配置や幼稚園・保育園への絵本、小・中学校への学校図書購入などにかかわる「親と子の夢を育む読書活動推進事業費」などを計上しております。そのほかのソフト事業における新規事業として、小・中学校の音楽活動の

充実のため、楽器購入に係る「音のまち大仙楽器サポート事業費」、ハード事業では、西仙北地域統合小学校の増改築等に要する「統合小学校整備事業費」などを計上しております。また、平成23年度インターハイのなぎなた競技が8月にふれあい体育館を会場に実施されることから、その所要額を計上しております。

136ページになります。

11款災害復旧費は703万1千円であり、補助分の災害復旧事業費については、災害が発生した後の国の査定結果等を踏まえ予算計上する予定であります。

137ページになります。

12款公債費は、61億7,957万6千円で、前年度当初と比べて1.6%減で計上しております。

138ページになります。

13款予備費は、前年度同額の5,000万円を計上しております。

次に、各特別会計についてご説明申し上げます。

165ページになります。

議案第87号、平成23年度大仙市国民健康保険事業特別会計予算は、事業勘定で歳入歳出それぞれ103億683万4千円、診療所勘定で歳入歳出それぞれ1億7,711万4千円、歯科診療所勘定で歳入歳出それぞれ3,635万2千円であります。

185ページになります。

2款保険給付費は、国民健康保険税の課税所得額の減や一人当たりの被保険者療養費の伸び等を勘案し、64億787万5千円を計上しております。

また、3款後期高齢者支援金等は11億8,568万3千円、7款共同事業拠出金は16億425万円など所要額を計上しております。

215ページになります。

診療所勘定は、地域医療体制の充実を図るため、一日平均の目標患者数を約100人と見込み、一般管理費事務費など総務費は1億2,607万1千円、医療用器械器具費など医業費は3,301万8千円を計上しているほか、公債費など所要額を計上しております。

239ページになります。

歯科診療所勘定は、地域の歯科医療を確保し、一日平均の目標患者数を20人弱と見

込み、医業費は725万1千円など所要額を計上しております。

243ページになります。

次に、議案第88号、平成23年度大仙市後期高齢者医療特別会計予算は、歳入歳出それぞれ8億889万8千円であります。

後期高齢者医療特別会計は、原則75歳以上の高齢者を対象とした後期高齢者医療制度について、広域連合と市が連携し、保険料の徴収事務や保険給付にかかわる事務を取り扱うものであり、主な内容としては、253ページになりますが、2款後期高齢者医療広域連合納付金は7億7,786万4千円など所要額を計上しております。

263ページになります。

議案第89号、平成23年度大仙市土地区画整理事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ21億596万1千円であります。

272ページからになりますが、土地区画整理事業特別会計の主な内容は、中通線新設工事のほか大花線新設工事、建物移転補償費などの事業費として14億1,675万3千円のほか、公債費などにかかわる所要額を計上しております。

283ページになります。

次に、議案第90号、平成23年度大仙市学校給食事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ12億1,984万7千円であります。

292ページになりますが、主な内容は、児童・生徒など約7,000人分にかかわる安全で安心な学校給食の提供を図るため、給食材料費や調理運搬業務委託費などの給食事業費として7億8,438万1千円を計上しているほか、だいせん夢未来債の満期一括償還にかかわる公債費など所要額を計上しております。

305ページになります。

議案第91号、平成23年度大仙市奨学資金特別会計予算は、歳入歳出それぞれ3,801万2千円であります。

奨学資金特別会計は、経済的理由で就学困難な者に対し奨学資金を貸付する事業であります。事務費のほか、23年度は、大学生など30人、高校生15人分の奨学資金貸付金など3,801万2千円を計上しております。

317ページになります。

議案第92号、平成23年度大仙市宅地造成事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ2,702万8千円であります。

325ページになりますが、宅地造成事業特別会計の主な内容は、仙北地域の払田地区及び西仙北地域の強首地区にかかわる町村土地開発公社への返還金や土地の維持管理費、宣伝広告費として2,692万8千円などを計上しております。

329ページになります。

議案第93号、平成23年度大仙市簡易水道事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ13億6,409万9千円であります。

簡易水道事業特別会計は、仙北地域の戸地谷地区簡易水道事業の終了などにより、前年度と比較し約2億円の減となっております。

338ページになりますが、主な内容といたしまして、維持管理にかかわる一般管理費などの総務費は2億5,439万8千円、また、安全で安定した水源の確保や水道水の供給を目的に、西仙北地域大沢郷地区、刈和野地区、南外地区、神岡地域北檜岡地区、協和地域協和中央地区、淀川地区の合計6カ所の事業費として3億6,947万4千円を計上しているほか、公債費など所要額を計上しております。

351ページになります。

議案第94号、平成23年度大仙市公共下水道事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ17億8,196万6千円であります。

360ページになりますが、主な内容は、下水道維持管理費にかかわる総務費として3億2,196万1千円、また、大曲地域及び神岡地域の管渠敷設工事費の増や大曲駅前第二地区土地区画整理事業地内の下水道整備工事が新たに開始となることから、事業費として5億8,055万4千円を計上しているほか、公債費など所要額を計上しております。

375ページになります。

次に、議案第95号、平成23年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ7億7,220万4千円であります。

384ページになりますが、主な内容は、下水道維持管理費にかかわる総務費として1億5,474万4千円、また、中仙地域及び南外地域の管渠工事や設計業務費などの事業費として1億7,869万4千円を計上しているほか、公債費など所要額を計上しております。

397ページになります。

議案第96号、平成23年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計予算は、歳入

歳出それぞれ2,525万7千円であります。

406ページになりますが、主な内容は、西仙北地域及び協和地域にかかわる浄化槽維持管理費など、総務費として1,501万8千円、公債費は973万9千円など所要額を計上しております。

411ページになります。

議案第97号、平成23年度大仙市農業集落排水事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ15億9,654万4千円であります。

前年度と比較し、太田地域の三本扇地区の事業費の減などにより、約1億7,200万円の減となっております。

421ページになりますが、主な内容といたしまして、農業集落排水維持管理費にかかわる総務費は1億9,093万1千円、また、大曲地域角間川地区及び太田地域三本扇地区の農業集落排水事業費は5億2,103万円を計上しているほか、公債費など所要額を計上しております。

435ページになります。

議案第98号、平成23年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ8億2,122万3千円であります。

この介護サービス事業は、要介護状態となった利用者に対し、医学的管理下における機能訓練、介護等の施設サービスを提供し、在宅復帰を支援する事業であり、446ページになりますが、主な内容としましては、八乙女荘及び幸寿園2施設における施設運営費などの総務費は6億8,275万8千円、サービス事業費は9,366万6千円のほか、公債費など所要額を計上しております。

459ページとなります。

議案第99号、平成23年度大仙市老人デイサービス事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ6,682万円であります。

老人デイサービス事業特別会計は、利用者が可能な限り在宅での生活を継続できるように通所による機能訓練等の各種サービスを提供する事業であり、23年度予算は、南外地域福寿園の法人移行に伴い、前年度と比較し約8,400万円の減となっているのであります。

468ページになりますが、主な内容といたしましては、協和デイサービスセンターにおける施設運営費などの総務費は1,174万5千円、サービス事業費として

2, 574万円のほか、公債費など所要額を計上しております。

473ページになります。

議案第100号、平成23年度大仙市スキー場事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ3,705万6千円であります。

482ページになりますが、主な内容は、大曲ファミリースキー場の維持管理や協和スキー場のスキーハウス改修工事費などにかかわるスキー場事業費として3,204万4千円のほか、公債費など所要額を計上しております。

487ページになります。

議案第101号、平成23年度大仙市内小友財産区特別会計予算は、歳入歳出それぞれ43万円であります。

496ページになりますが、主な内容といたしまして、管理会運営費など管理会費として37万7千円など所要額を計上しております。

501ページになります。

議案第102号、平成23年度大仙市大川西根財産区特別会計予算は、歳入歳出それぞれ41万6千円であります。

509ページになりますが、主な内容といたしまして、管理会運営費など管理会費として37万7千円など所要額を計上しております。

513ページになります。

議案第103号、平成23年度大仙市荒川財産区特別会計予算は、歳入歳出それぞれ210万円であります。

522ページになりますが、主な内容といたしまして、財産区管理会諸経費など管理会費として49万3千円、総務費では一般管理費など83万4千円のほか、所要額を計上しております。

527ページになります。

議案第104号、平成23年度大仙市峰吉川財産区特別会計予算は、歳入歳出それぞれ166万4千円であります。

535ページになりますが、主な内容といたしまして、財産区管理会諸経費など管理会費として47万4千円、総務費では一般管理費など47万円のほか、所要額を計上しております。

541ページになります。

議案第105号、平成23年度大仙市船岡財産区特別会計予算は、歳入歳出それぞれ200万円であります。

550ページになりますが、主な内容といたしまして、財産区管理会諸経費など管理会費として49万円、総務費では財産造成費など67万2千円のほか、所要額を計上しております。

555ページになります。

議案第106号、平成23年度大仙市淀川財産区特別会計予算は、歳入歳出それぞれ240万4千円であります。

563ページになりますが、主な内容といたしまして、財産区管理会諸経費など管理会費として48万9千円、総務費では財産造成費など84万5千円のほか、所要額を計上しております。

以上、平成23年度一般会計・特別会計予算の概要を申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第89、議案第107号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。伊藤市立大曲病院事務長。

○病院事務長（伊藤和保君）【登壇】 それでは、議案第107号、平成23年度市立大曲病院事業会計予算について、説明申し上げます。

資料につきましては、資料No. 3の予算書569ページからとなっておりますので、お聞き願いたいと思います。

早速ですが、こちらの569ページの予算第2条、業務の予定量から説明させていただきます。

平成23年度の業務の予定量につきましては、入院では、一日平均患者数を前年度と同様に115人とし、年間延べ患者数を4万2,090人、病床利用率で95.8%と見込んでおります。

また、外来では、一日平均患者数を前年度比較で3人多い60人とし、年間の延べ患者数を1万4,640人と見込んでおります。

さらに、在宅医療の一環として実施してきております精神科訪問看護・指導につきましては、訪問対象患者数やこれまでの実績を勘案し、一日の訪問患者を2人として、週2日あるいは3日の訪問を実施することで、年間延べ患者数を224人と見込んだとこ

るでございます。

次に、予算の概要についてであります。予算第3条の収益的収入及び支出の予定額につきましては、収入の第1款病院事業収益、支出の第1款病院事業費用ともに、同額の9億7,918万9千円で、収支差し引きゼロの予定額で、前年度当初と比較いたしまして2,961万3千円、率にして3.1%の増の予定額でございます。

収入の第1款第1項の医業収益につきましては、前年度当初と比較して3,204万円、率にして4.5%増の7億4,019万1千円を見込んでおります。

内訳となります入院収益では5億5,300万2千円、また、外来収益につきましては、訪問看護指導を含め1億8,362万9千円となっております。

第2項の医業外収益につきましては、前年度比較で242万7千円、率にして1%減の2億3,899万8千円で、この内訳であります一般会計からの負担金につきましては2億3,785万2千円で、前年度比較で240万3千円の減となっております。

一方、支出の第1款第1項の医業費用につきましては、前年度比較で3,205万1千円、率にして3.6%増の9億2,957万1千円で、主な内訳は、職員の給与費、各種賃金、法定福利等の給与費が5億3,768万5千円、医薬品、診療材料等購入の材料費が1億4,761万5千円、電気・水道料の光熱水費や重油等の燃料費、各種業務の業務委託料などの経費が1億6,168万2千円、減価償却費が8,059万8千円となっております。

第2項の医業外費用につきましては、前年度比較で243万8千円、率にして4.8%減の4,811万8千円の計上でございます。

病院建設時の企業債3件分の支払い利息が主なものでございます。

第3項予備費につきましては、前年度同額の150万円を計上いたしております。

次のページをお願いいたします。

こちらのページ、予算第4条の資本的収入及び支出の予定額につきましては、収入では、該当する収入がなくゼロということでございます。

支出の第1款資本的支出は9,878万円で、前年度当初と比較して46万6千円の増と、ほぼ前年度と同額の予定額となっております。

内訳になります第1項建設改良費は1,783万円の計上でございます。この内訳は、保護室や病室の改修工事費で866万5千円、医療器械などの購入で916万5千円となっております。

第2項の企業債償還金につきましては、今の病院の建設時の企業債3件分の償還元金の計上で7,995万円であります。

また、3項予備費につきましては、前年度同様の100万円の計上でございます。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額につきましては、過年度分損益勘定留保資金により補てんしようとするものでございます。

次の第5条、一時借入金の限度額、第6条の予算の流用に関する事項、第7条のたな卸資産の購入限度額につきましては、それぞれ記載のと通りの金額となっております。よろしく申し上げます。

以上、平成23年度市立大曲病院事業会計予算の概要について説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第90、議案第108号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。藤田水道局長。

○水道局長（藤田良雄君） 【登壇】 予算書の593ページをお開き願います。

議案第108号、平成23年度大仙市上水道事業会計予算につきまして、ご説明いたします。

第1条の総則、平成23年度大仙市上水道事業会計の予算につきましては、地方公営企業法第24条に基づき、本条以下第9条までの条項に必要な予算内容を定めたものであります。

第2条の業務の予定量につきましては、給水戸数が前年度比0.1%減の1万3,654戸、年間総配水量は、前年度比0.5%増の451万9,782^m、一日平均配水量は、前年度比0.5%増の1万2,383^mを予定しており、水道料金算定の基礎となります有収水量を年間総配水量で割った有収率は、前年度と同率の90%を見込んでおります。

次に、第3条の収益的収入及び支出につきましては、収入第1款上水道事業収益は、前年度比3.1%増の8億9,054万8千円を見込んでおり、第1項営業収益8億5,950万2千円のうち、水道料金として水需要の大幅な伸びが見込まれないことから、前年度比0.1%増の8億5,152万1千円、その他営業収益として、給水装置工事設計審査手数料など798万1千円を計上しております。

第2項営業外収益1,922万8千円の主なものとしまして、他会計補助金299万

円は、仙北南地区簡易水道事業にかかわる基準内繰入金、県からの補償金1,539万1千円は、大曲橋架替事業に伴う既存取水施設撤去工事実施設計業務委託などでありま
す。

第3項特別利益1,181万8千円につきましては、固定資産売却益として金谷ポン
プ場の用地を秋田県に売却するもので、売却予定価額と帳簿価額の差額であります。

次に、支出第1款上水道事業費用は、前年度比15.7%増の7億8,785万8千
円であります。

第1項営業費用6億8,458万7千円の主なものとしまして、職員20名の給与費
1億6,422万7千円、水質検査経費、大曲橋架け替えに伴う既存取水施設及び導水
管撤去申請業務委託など委託料5,918万1千円、宇津台・玉川浄水場など施設の修
繕費3,052万3千円、減価償却費2億3,576万9千円、資産減耗費として金谷
ポンプ場撤去工事費など9,430万8千円であります。

第2項営業外費用1億77万1千円の主なものとしまして、企業債利息6,403万
5千円、消費税及び地方消費税3,038万4千円であります。

第3項特別損失100万円は、過年度損益修正損として、時効欠損、過年度分料金還
付金などであります。

第4項予備費は、150万円を計上しております。

収入及び支出の差し引きとしまして、消費税を控除しました純利益につきましては、
前年度比44.1%減の9,893万9千円を見込んでおります。

594ページをお願いします。

次に、第4条、資本的収入及び支出につきましては、収入第1款資本的収入額を前年
度比84.5%減の4,056万円、支出第1款資本的支出額を前年度比53.8%減
の2億7,860万6千円を見込んでおります。

資本的支出額に対して不足する額2億3,804万6千円につきましては、過年度分
損益勘定留保資金1億3,215万7千円、減債積立金1億円、当年度分消費税及び地
方消費税資本的収支調整額588万9千円で補てんするものであります。

収入の内訳としまして、第1項工事負担金は、大曲駅前第二地区土地区画整理事業に
伴う配水管移設工事負担金など4,041万1千円、第5項固定資産売却代金は、金谷
ポンプ場用地を秋田県に売却するもので、昭和38年に取得した帳簿価額の14万9千
円を計上しております。

支出の内訳としまして、第1項建設改良費1億6,520万7千円、第2項企業債償還金1億1,339万9千円を計上しております。

建設改良費の主なものは、配水管布設工事1地区、配水管改良工事6地区、配水管移設工事2地区を予定しております。

そのうち、配水管布設工事の内小友字仙北屋地区及び配水管改良工事の大曲住吉町地区、大曲栄町地区、大曲西根字小館地区の合わせて4地区につきましては、「大仙市経済・雇用・生活緊急対策本部」の第3次行動計画に基づき、切れ目のない企業支援としまして前倒しで発注し、2月24日に契約しております。

第5条は、債務負担行為をすることができる事項について期間及び限度額を定めるもので、大曲橋架け替えに伴う水道施設整備事業の配水管橋梁添架工事の期間を平成24年度とし、限度額2億1,300万円の債務負担行為の設定をお願いするものであります。

595ページをお願いします。

第6条、一時借入金の限度額、第7条、予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合、第8条、議会の議決を経なければ流用することのできない経費、第9条、たな卸資産の購入限度額につきましては、記載のとおりであります。

以上、議案第108号につきましてご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（児玉裕一君） これにて本定例会に上程されました議案についての説明が終了いたしました。

○議長（児玉裕一君） お諮りいたします。議案等調査のため、3月1日から3月6日まで6日間、休会いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって、3月1日から3月6日まで6日間、休会することに決しました。

○議長（児玉裕一君） 以上で本日の日程はすべて終了いたしました。

本日はこれをもって散会し、来たる3月7日、本会議第2日を定刻に開議いたします。

長時間にわたり、大変ご苦勞様でした。

午後 3時26分 散 会